SONY

Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-T300

本書では、Cyber-shotの楽しみかたを紹介しています。
*「取扱説明書」*または*「サイバーショットステップアップガイド」*もあわせてお読みください。

▼クリック！

3-288-698-**03** (1) JP

操作前のご注意

表示言語について

本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

本機で使用できる"メモリースティック"（別売）についてのご注意

"メモリースティック デュオ"：本機で使用可能です。

"メモリースティック"：本機では使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

- "メモリースティック デュオ"について詳しくは、129ページをご覧ください。

"メモリースティック デュオ"を"メモリースティック"対応機器で使用する場合

メモリースティック デュオ アダプター（別売）に入れると使用可能です。

メモリースティック デュオ アダプター

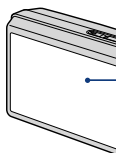
バッテリーについてのご注意

- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長期間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、131ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒、白、赤、青、緑の点

- 液晶画面に水滴などがついて濡れてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機のレンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

目次

基本操作

撮影時の機能を使う

再生時の機能を使う

設定を変更する

テレビで見る

パソコンで楽しむ

静止画をプリントする

困ったときは

その他

用語の解説／索引

撮影時の基礎知識

ここでは、サイバーショットを使いこなすための基礎について説明します。
本機に搭載された多彩な機能は、ホーム画面（35ページ）や、メニュー（37ページ）などで使うことができます。

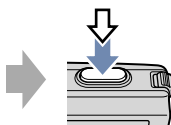
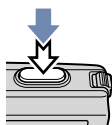
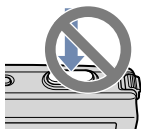
クリアな画像を撮るために

本機はシャッターを半押しすることで、ピントを自動で合わせます（オートフォーカス）。
シャッターを半押しする習慣をつけましょう。

いきなり押し込む

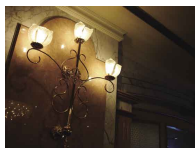
半押しにしてピントが合ってから

AE/AFロック表示
点滅→点灯

押し込む

ピントがうまく合わないときは：→［フォーカス］（43ページ）
ピントを合わせても画像がクリアでないときは、手ブレを起こしている場合があります：→次の［手ブレを起こさないためのヒント］をご覧ください。

手ブレを起こさないためのヒント

撮影時にカメラが動くと「手ブレ」、被写体が動くと「被写体ブレ」が起こります。

手ブレ

原因

シャッターボタンを押したときに、カメラを持つ手や体が揺れて画面全体がブレてしまう。

軽減するには

- 三脚を使用したり、カメラを平らな場所に置き、固定する。
- セルフタイマーを2秒に設定して、シャッターを押したあとにしっかりと構え直す。

被写体ブレ

原因

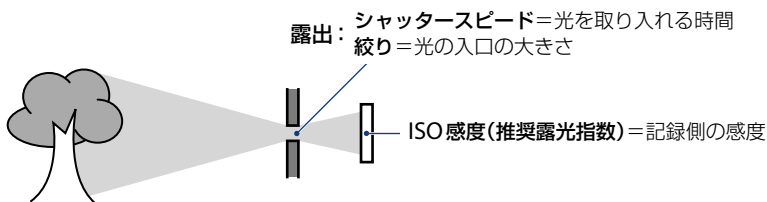
カメラを固定していても、シャッターボタンを押したときに被写体が動いてしまい、ブレが起こる。

軽減するには

- (高感度モード)に設定して撮影する。
- ISO感度の設定を上げてシャッタースピードを速くし、被写体が動く前にシャッターを切る。

- 手ブレ補正機能は出荷時に「入」に設定されており、自動的に手ブレを軽減できます。しかし、被写体ブレには効果はありません。
- (夜景モード)や(夜景＆人物モード)など、暗い場所やシャッタースピードが遅くなるような状況では、手ブレ、被写体ブレも起こりやすくなるため、上記の軽減方法を参考に撮影してください。

露出　光の量を調整して好みの画像を撮る

露出と記録感度を調整することで、さまざまな仕上がりにすることができます。露出とはシャッターを切ったときに取り入れる光の量のことです。

露出オーバー
＝光が多すぎる
画面が白くなる

露出が適正

露出アンダー
＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

本機は露出が適正になるように自動調整します（オート撮影時）が、以下の機能でお好みの状態に調整できます。

露出補正：
自動調節した露出を補正
（46ページ）

測光モード：
露出を自動調整する場所を変更
（45ページ）

ISO感度（推奨露光指数）の調整

ISO感度とは、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。ISO感度の調整について詳しくは、46ページをご覧ください。

ISO感度が高い
シャッタースピードを速くしてブレを軽減し、露出が足りない場所でも、明るめに記録できます。
ただし、画像にざらつきが生じやすくなります。

ISO感度が低い
ざらつきの少ない画像を撮ることができます。
ただし露出が足りない場合は、画像は暗めに記録されることがあります。

色　光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。

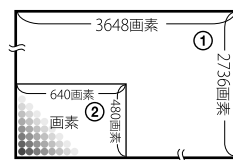
例：同じ色が光の影響で違って見えます

天候や照明	晴れ	曇り	蛍光灯	電球
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

本機はこの変化を適正にするように自動調整します（オート撮影時）が、［ホワイトバランス］（52ページ）でお好みの色に調整できます。

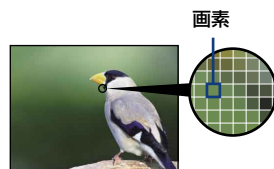
画質　「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素（ピクセル）」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指し、本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

① 画像サイズ：10M
3648画素×2736画素＝9980928画素

② 画像サイズ：VGA
640画素×480画素＝307200画素

用途にあわせてサイズを選ぶ（24ページ）

画素

画素数が多い
（細密で、データ量が多い）

例：A3ノビサイズまでの用紙に印刷する

画素数が少ない
（粗いが、データ量が少ない）

例：Eメールで送る

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

	静止画画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓	10M(3648 × 2736)	A3ノビまでの印刷に適したサイズで撮影します	少ない ↕ 多い	精細 ↕ 粗い
	3:2(8M) *1 (3648 × 2432)	縦横比3:2で撮影します		
	5M (2592 × 1944)	A4までの印刷に適したサイズで撮影します		
	3M (2048 × 1536)	L/2L判までの印刷に適したサイズで撮影します		
	VGA(640 × 480)	Eメール添付に適した小さいサイズで撮影します		
	16:9(7M) *2 (3648 × 2056)	ハイビジョンテレビ表示やA4までの印刷に適しています	少ない ↕ 多い	精細 ↕ 粗い
	16:9(2M) *2 (1920 × 1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞に適しています		

*1) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の縦横比で撮影します。

*2) 画面いっぱいに表示されます。プリント時に両端が切れることがあります(121ページ)。

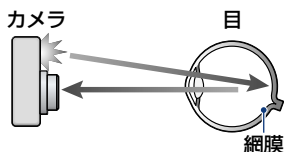
	動画画像サイズ	フレーム数/秒	用途の例
	640(ファイン) (640 × 480)	約30枚	テレビに適したサイズに高画質で撮影します
✓	640(スタンダード) (640 × 480)	約17枚	テレビに適したサイズに標準画質で撮影します
	320(320 × 240)	約8枚	Eメール添付に適した小さいサイズで撮影します

- 画像サイズは大きいほど高精細になります。
- 1秒間に再生されるフレーム数は、多いほどなめらかな動きになります。

フラッシュ撮影について

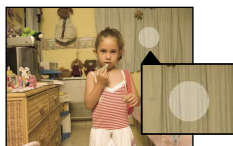
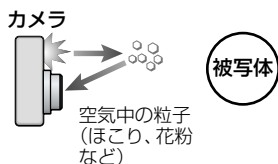
フラッシュ撮影すると、目が赤く写ったり、ぼんやりと丸い斑点のようなものが写ってしまうことがあります。この現象は、下記の方法で軽減できます。

目が赤く写る

暗い場所では目の瞳孔が開いており、フラッシュ光によって網膜の血管が写し出され、目が赤く写ってしまうことがあります。

軽減するには

- [赤目軽減]を[入]にする(54ページ)。
- ISO(高感度モード)*に設定して撮影する(40ページ)。(フラッシュはオフになります)
- 赤目で写ってしまった場合は、再生メニューの[加工](62ページ)、または付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」で修正する。

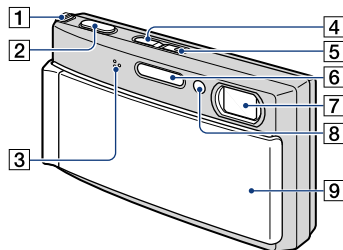
白く丸い点が写る

カメラの近くに浮かんでいるほこりや花粉などがフラッシュに反射して、白く丸い点のように撮影されてしまうことがあります。

軽減するには

- 撮影環境を明るくし、フラッシュなしで撮影する。
- ISO(高感度モード)*に設定して撮影する。(フラッシュはオフになります)

* ISO(高感度モード)に設定しても、暗い場所ではシャッタースピードが遅くなることがあります。三脚を使用するか、脇をしめ、シャッターボタンを押したあとでもしっかりとカメラを固定してください。

各部の名前

カッコ内の数字はページ数。

1 ズーム（W/T）レバー（26）

2 シャッターボタン（25）

3 マイク

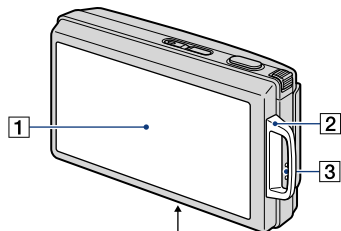
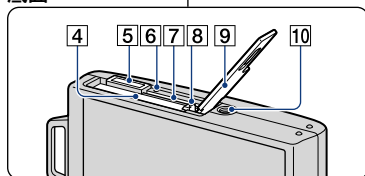
4 ▶（再生）ボタン（28）

5 POWER（パワー）ボタン/POWER（パワー）ランプ

6 フラッシュ（27）

7 レンズ

8 セルフタイマーランプ（26）/スマイルシャッターランプ（41）/AFイルミネーター（83）

9 レンズカバー

1 液晶画面/タッチパネル（20, 21）

2 リストストラップ取り付け部/グリップ

3 スピーカー

4 バッテリー挿入口

5 マルチ接続端子

下記の場合に使用します。

- パソコンとのUSB接続
- テレビなどとのAV接続
- プリンターとのPictBridge接続

6 アクセスランプ

7 "メモリースティック デュオ"挿入口

8 取りはずしつまみ

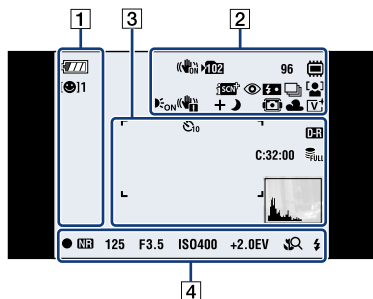
9 バッテリー/"メモリースティック デュオ"カバー

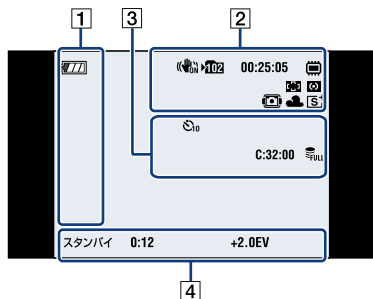
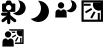
10 三脚用ネジ穴

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。
  ネジの長さが5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

画面の表示

画面右下の[DISP]をタッチして画面表示を切り換えることができます（21ページ）。
カッコ内の数字はページ数。

静止画撮影時

• **EASY**（かんたん撮影）のときは、表示されるアイコンは制限されます。

動画撮影時

1

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリープリエンド（124）
[☻]1	スマイル検出感度インジケーター／撮影枚数（41）
W T ×1.3 SQ PQ	ズーム（26、84）

2

表示	意味
ON OFF	手ブレ補正（56） • お買い上げ時の設定では、シャッターボタンを半押しした時に表示されます。
102	記録フォルダ（74） • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
96	記録可能枚数
00:25:05	記録可能時間（時：分：秒）
	記録メディア （"メモリースティック デュオ"、内蔵メモリー）
ON	AF イルミネーター（83）
	手ブレ警告 • 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況を示しています。表示されていても撮影は可能ですが、手ブレ補正をオンにする、または光量を増やすためにフラッシュを使ったり、三脚などで本機をしっかりと固定することをおすすめします（9ページ）。

表示	意味
iSCN iSCN+	おまかせシーン認識(51)
	赤目軽減(54)
	フラッシュレベル(54)
	フラッシュ充電中
BRK ±0.3 BRK ±0.7 BRK ±1.0	撮影モード(50)
	顔検出(48)/スマイル検出(49)
	測光モード(45)
	フォーカス(43)
	タッチAF表示(24)
	ハウジング(79)
WB	ホワイトバランス(52、54)
V S BW	カラーモード(55)

3

表示	意味
	AF測距枠(43)
	セルフタイマー(26)
FULL	データベースフル(127)
D-R D-R Plus	DRO(55)
C:32:00	自己診断表示(124)
	ヒストグラム(21)

4

表示	意味
	AE/AFロック(25)
NR	NRスローシャッター • 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定速度よりも遅くなると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR(ノイズリダクション)スローシャッター機能といいます。
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度(46)
+2.0EV	露出補正値(46)
	マクロ/拡大鏡モード撮影(27) • [表示設定]が[画像のみ]の場合に表示されます。
SL	フラッシュモード(27) • [表示設定]が[画像のみ]の場合に表示されます。
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間(分:秒)

静止画再生時

動画再生時

1

表示	意味
(バッテリー表示)	バッテリー残量
(バッテリー表示)	バッテリープリエンド（124）
10M 5M 3M VGA 3:2 16:9+ 16:9 FINE STD 320	画像サイズ（12）
(PictBridge表示)	PictBridge接続（108）
♡1 ♡2 ♡3 ♡4 ♡5 ♡6	ビューモード（57）
(画像絞込み表示)	画像絞込み（59）
♡	お気に入り（60）
(プロテクト表示)	プロテクト（67）
DPOF	プリント予約マーク（111）
×2.0	再生ズーム（29）

2

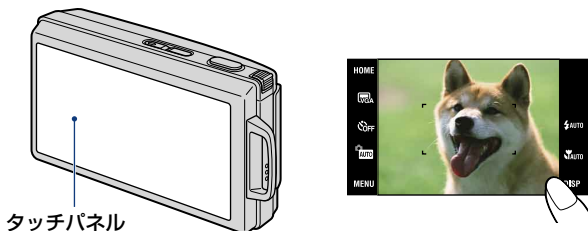
表示	意味
102	再生フォルダ（70） • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
8/8	画像番号/再生フォルダ内画像枚数
(メディア表示)	再生メディア（"メモリースティック デュオ"、内蔵メモリー）
(PictBridge接続中表示)	PictBridge接続中（110） • マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

表示	意味
	フォルダ移動（70） • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
音量	音量（70）
C:32:00	自己診断表示（124）

3

表示	意味
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度（46）
+2.0EV	露出補正値（46）
	測光モード（45）
	フラッシュ
AWB WB	ホワイトバランス（52、54）
	再生（28）
	再生バー
0:00:12	カウンター
101-0012	フォルダ-ファイル番号（70）
2008 1 1 9:30 AM	画像の記録日時
	ヒストグラム（21） • 表示不能のときは⊗が表示されます。

タッチパネルを操作する

本機の液晶画面は、カメラ操作をするためのボタンが出る画面（タッチパネル）にもなります。

1 電源を入れる。

撮影：レンズカバーを下げる。
再生：▶（再生）ボタンを押す。

2 画面上のボタンを指で軽くタッチする（触れる）。

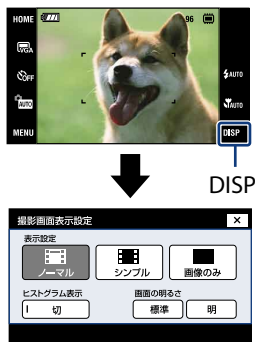
タッチパネルのボタンについて

- 設定したい項目がないときは、▲/▼/◀/▶をタッチしてページを変える。
- [BACK]または[×]をタッチすると、1つ前の画面に戻る。
- [OK]をタッチすると次の画面に進みます。

- タッチパネルを操作するときは、指または付属のペイントペンで軽く押してください。
- 付属のペイントペン以外の先の尖ったもので押さないでください。
- 液晶画面を必要以上に強く押さないでください。
- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。

画面表示を切り換える

[DISP]をタッチして画面表示を切り換えることができます。

• 撮影時と再生時は[画面の明るさ]以外は個別に設定が必要です。
• 一覧表示画面では、枚数表示の設定もできます（29ページ）。

[表示設定]

画面にボタンやアイコンを表示するかどうか設定します。

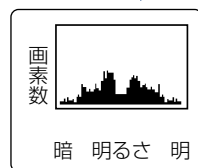
ノーマル
（タッチパネルのボタンとアイコンを表示）

シンプル
（タッチパネルのボタンのみ表示）

画像のみ

• 再生時、[ノーマル]、[シンプル]で OFFをタッチすると一時的に[画像のみ]の表示になります。タッチパネルのボタンを再び表示するには、画面中央をタッチします。[画像のみ]のとき画面中央をタッチすると一時的に[ノーマル]の表示になります。 OFF をタッチすると、[画像のみ]に戻ります。
• 16:9で撮影、再生するときは、[画像のみ]に設定すると画面いっぱいに表示され、便利です。

[ヒストグラム表示]

画面にヒストグラムを表示するかどうか設定します。

ヒストグラムは、明るさを示すグラフです。表示が右寄りなら明るめの画像、左寄りなら暗めの画像です。

• 静止画1枚再生時にもヒストグラムが表示されますが、露出補正はできません。
• 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
  – 撮影時：メニュー表示時/動画時
  – 再生時：メニュー表示時/一覧表示時/再生ズーム時/静止画回転時/動画時/お気に入りリスト時/日付リスト時

- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
  – フラッシュ発光したとき
  – シャッタースピードが遅い、速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。

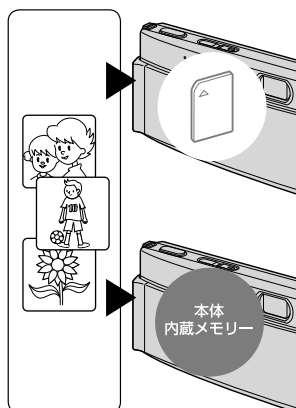
[画面の明るさ]

液晶画面の明るさを設定します。

- 明るい屋外では、[画面の明るさ]を[明]にすると見やすくなります。ただし、バッテリーの消費は早くなります。

内蔵メモリーについて

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（約15MB）が装備されています。本機に"メモリースティック デュオ"が入っていないときでも、画像を内蔵メモリーに記録できます。

• 画像サイズが［640（ファイン）］の動画は内蔵メモリーに記録できません。

"メモリースティック デュオ"が挿入されているとき

［撮影画像］："メモリースティック デュオ"に記録します。

［再生］："メモリースティック デュオ"内の画像を再生します。

［メニュー / 設定などの機能］："メモリースティック デュオ"内のデータに対して行います。

"メモリースティック デュオ"が挿入されていないとき

［撮影画像］：内蔵メモリーに記録します。

［再生］：内蔵メモリーの画像を再生します。

［メニュー / 設定などの機能］：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

"メモリースティック デュオ"にバックアップを取るには

充分な空き容量のある"メモリースティック デュオ"を準備して、［コピー］（75ページ）の操作を行う。

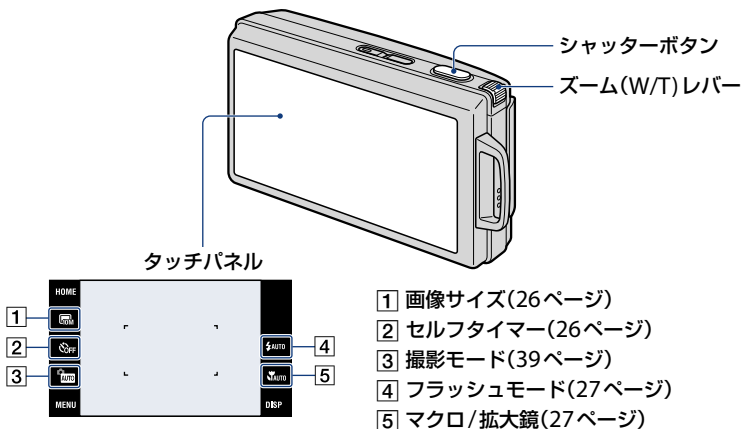
パソコンのハードディスクにバックアップを取るには

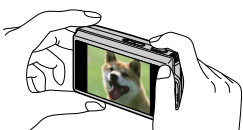
本機に"メモリースティック デュオ"を入れない状態で、95 ～ 100ページの操作を行う。

• "メモリースティック デュオ"に記録された画像データを、内蔵メモリーにコピーすることはできません。
• 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンにコピーできますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーにコピーすることはできません。

撮影する（オート撮影）

ここではカメラの基本機能を使って撮影する方法を紹介しています。

1 画像サイズ（26ページ）
2 セルフタイマー（26ページ）
3 撮影モード（39ページ）
4 フラッシュモード（27ページ）
5 マクロ/拡大鏡（27ページ）

1 レンズカバーを開ける。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

被写体をフレーム中央部におさめるかピントを合わせたい部分をタッチする

画面をタッチすることによりピントを合わせたいポイントを選ぶことが出来ます

タッチパネル上の被写体をタッチすると枠が表示されシャッターを半押ししたときに枠内にピントが合います。枠内に顔がある場合は、ピント以外に明るさ、色合いも自動で最適化されます。

- タッチした場所に顔が検出された場合は画面右上にが、それ以外の場合は が表示されます。解除するときは OFFをタッチします。
- デジタルズーム時、（拡大鏡入）モード時、EASY（かんたん撮影）時はこの機能は使えません。
- シーンセレクションの （風景モード）、（夜景モード）、（打ち上げ花火モード）、（水中モード）、（高速シャッターモード）が選ばれているときは、この機能は使えません。
- 選択できる範囲外をタッチした場合は、選択できる範囲が表示されます。

3 シャッターボタンで撮影する。

① シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
緑の●(AE/AFロック表示)が点滅し、「ピピッ」という音がして点灯します。

AE/AFロック表示

② シャッターボタンを深く押し込む。

動画を撮影するには

撮影モード設定ボタンをタッチして、(動画)を選ぶ(39ページ)。

撮影モード設定ボタン

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は、レンズ先端からW側約8cm、T側約80cmです。それよりも近くで撮影するときは、拡大鏡撮影してください。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体：

- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

EASY かんたん撮影で撮る

撮影モード設定ボタンをタッチして、EASY（かんたん撮影）を選んで、［OK］をタッチする。
文字が大きくなり、表示が見やすくなります。
本機が最適な設定で撮影を行うため、設定を変えられるのは画像サイズ（大/小）（47ページ）、フラッシュ（オート/切）（47ページ）、セルフタイマー（10秒/切）（26ページ）のみです。

W/T ズームする

ズーム（W/T）レバーをT側にスライドするとズームし、W側にスライドすると戻ります。

- レンズの倍率（5倍）を超えるとデジタルズームになります。
  ［デジタルズーム］の種類と画質について詳しくは、84ページをご覧ください。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。

画像サイズを変える

画面の 画像サイズ設定ボタンをタッチする。設定したい項目にタッチして、［OK］をタッチする。
画像サイズについて詳しくは、11ページをご覧ください。

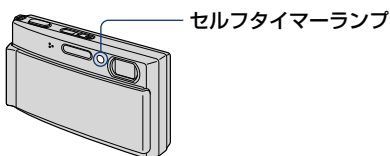
セルフタイマーを使う

画面の セルフタイマー設定ボタンをタッチする。設定したい項目にタッチして、［OK］をタッチする。

OFF：セルフタイマー解除

10：セルフタイマーを10秒後に設定

2：セルフタイマーを2秒後に設定

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。

やめるには、OFF をタッチする。

- セルフタイマーを2秒後に設定して撮影すると、シャッターを押したときのブレを防ぐことができるため、手ブレが起こりにくくなります。
- EASY（かんたん撮影）のときは、ON（10秒）とOFF（切）のみ選べます。

フラッシュ（静止画のフラッシュモードを選ぶ）

画面のフラッシュ設定ボタンをタッチする。設定したい項目にタッチして、[OK]をタッチする。

AUTO：フラッシュオート
光量不足または逆光と判別したとき発光（お買い上げ時の設定）。

：フラッシュ強制発光

SL：スローシンクロ（強制発光）
暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

：フラッシュ発光禁止

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、 が表示されます。

マクロ撮影/拡大鏡撮影（被写体に近接して撮る）

画面のマクロ撮影/拡大鏡撮影設定ボタンをタッチする。設定したい項目にタッチして、[OK]をタッチする。

AUTO：オート
遠景から近接まで自動でピントを合わせる。
通常はこのモードにする。

：マクロ入
近接する被写体を優先してピントを合わせる。
近くのものを撮る場合に使用する。

：拡大鏡入
W側固定：約1 ～ 20 cm
マクロ撮影よりも、さらに近距離で撮影したい場合に使用します。

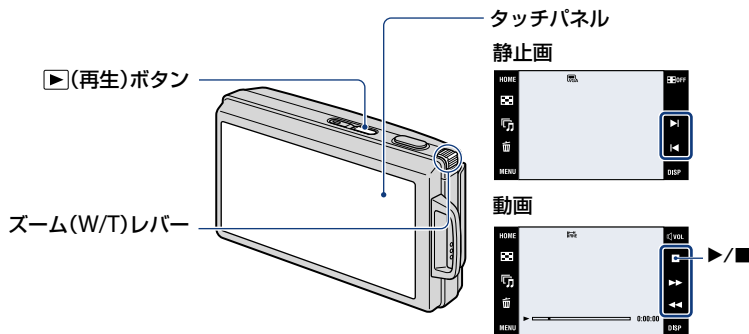
- マクロ撮影、拡大鏡撮影時は通常よりもピント合わせが遅くなります。

マクロ撮影

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。

拡大鏡撮影

- 光学ズームはW側に固定され使えません。
- 連写、ブラケット機能は使えません（50ページ）。
- 拡大鏡撮影のときは、顔検出機能は使えません。
- 拡大鏡モードは、電源を切ったりモードを切り換えたりすると解除されます。

画像を見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。

- 電源が入っていない状態でも、▶(再生)ボタンを押すと電源が入り、再生モードになります。もう一度 ▶(再生)ボタンを押すと、撮影モードになります。

2 I◀(前)/▶I(次)をタッチして画像を選ぶ。

動画のとき： ▶で再生します。
早送り・巻戻し：◀◀/▶▶(通常再生に戻るには▶)
音量調節：動画再生中、VOLをタッチして+/-で調節。
音量調節画面を消すには、[終了]をタッチ。
再生中止：■

- 画像サイズ[320]で撮影した動画は、ひとまわり小さく表示されます。
- [表示設定]が[画像のみ]の場合、再生時は画面の左右タッチで画像送り戻し、中央タッチで[ノーマル]の表示になります。OFFをタッチすると、[画像のみ]に戻ります。

- 当社の従来モデルで撮影した画像は再生できない場合があります。
[HOME]をタッチして、▶(画像再生)の[フォルダビュー]を選んで再生する。

再生ズーム（拡大して見るときは）

静止画を再生中にタッチするとその部分が拡大されます。

▲/▼/◀/▶：ズーム位置変更
⊕/⊖：倍率変更
✥：▲/▼/◀/▶を表示/非表示
BACK：ズーム中止

全体の中で現在表示されている部分
この場合は、画像中央が拡大表示されています。

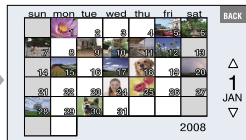
- 拡大した画像を保存するには[トリミング]をご覧ください(62ページ)。
- [画像のみ]で再生しているときは、画面の中央をタッチして[ノーマル]表示にしてから、もう一度画面をタッチしてください(21ページ)。

ズーム(W/T)レバーをT側にスライドしてもズームすることができます。W側にスライドすると戻ります(26ページ)。

一覧表示画面を使う

(インデックス)をタッチして、一覧表示画面に切り換える。

▼/▲をタッチしてページを送り/戻し。

日にち指定で再生画像を選ぶときは、(日付リスト)をタッチして、日付一覧から再生したい日付を選ぶことができます。(“メモリースティック デュオ”使用時)

(インデックス)　**日付リスト**

一覧表示画面のサムネイル画像をタッチすると1枚再生画面に戻ります。

- 初期設定では日付ビュー（“メモリースティック デュオ”使用時)またはフォルダビュー（内蔵メモリー使用時)で表示されます。ビューモードは変えることができます(57ページ)。
- 一覧表示画面で[DISP]をタッチすると、12枚と20枚で表示枚数を設定することができます。

スライドショーで静止画を見る

効果や音楽とともに、画像を自動的に連続再生します。

1 (スライドショー)をタッチする。

2 [実行]をタッチするとスライドショーが始まる。

- 動画は再生できません。
- [再生画像]、[画像絞込み]以外の設定は次回変更するまで保持されます。
- 当社の従来モデルで撮影した画像では、[画像絞込み]の機能が使えない場合があります。

スライドショーを終了するには

画面をタッチして、[終了]をタッチする。

BGMの音量を調節するには

画面をタッチして音量調節画面を表示し、+/-で調整する。
[×]をタッチすると、音量調節画面から戻ります。

- スライドショー開始前に、[MENU]の (音量設定)で調節することもできます。

設定を変更するには

手順2の設定画面で変更したい項目をタッチする。
設定することができる項目は以下のとおりです。
お買い上げ時の設定は✔で示しています。

再生画像 “メモリースティック デュオ”（別売）が挿入されていないときは、[フォルダ内]に固定されます。		
✔	**全て**	すべての静止画を順番に再生する。
	フォルダ内	選択中のフォルダ内/日付内/お気に入り内の静止画を再生する。[フォルダ内]、[この日付]は、それぞれのビューモードのときのみ選択できます。
	この日付	
	お気に入り1～6	

画像絞込み “メモリースティック デュオ”（別売）が挿入されていないときは、[切]に固定されます。		
✔	**切**	選択項目の条件で絞り込んで表示する。 誤って表示/非表示することがあります。 絞り込みを解除するときは、[切]を選ぶ。 • 当社の従来モデルで撮影した画像では、絞り込みできない場合があります。
	人物の顔	
	こどもの顔	
	赤ちゃんの顔	
	笑顔	

エフェクト		
	シンプル	静止画を一定間隔で送るシンプルなスライドショー。 再生間隔は変更可能です。 画像そのものをじっくりと楽しむことができます。
✓	**ベーシック**	さまざまなシーンにフィットするベーシックなスライドショー。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。
	顔1:ベーシック	静止画の中の顔にズームしたり、複数並べて表示するなど、顔の映っている画像をいかした、さまざまなシーンにフィットするミドルテンポなスライドショー。
	顔2:ノスタルジック	静止画の中の顔にズームしたり、複数並べて表示するなど、顔の映っている画像をいかした、ムードあるスローなスライドショー。
	顔3:スタイリッシュ	静止画の中の顔にズームしたり、複数並べて表示するなど、顔の映っている画像をいかした、ハイテンポな動きのあるスライドショー。

BGM 音楽(BGM)は、それぞれのエフェクトに合わせて作られています。エフェクトとBGMの組み合わせを変えることもできます。また、複数のBGMを選ぶことが可能です。		
	切	BGMはつけない。
	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
✓	Music2	[エフェクト]が[ベーシック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music5	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。
	Music6	[エフェクト]が[顔1:ベーシック]のときの初期設定。
	Music7	[エフェクト]が[顔2:ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music8	[エフェクト]が[顔3:スタイリッシュ]のときの初期設定。

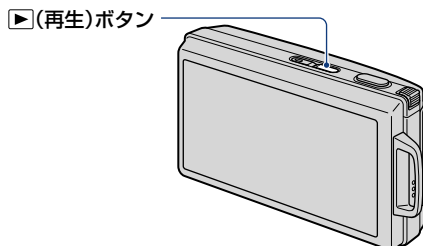
間隔設定 [エフェクト]が[シンプル]のとき以外は[オート]に固定されます。		
	1秒	画面切り換えの間隔。 ([エフェクト]が[シンプル]のときのみ)
	3秒	
	5秒	
	10秒	
✓	オート	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。

リピート		
✓	入	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

BGMファイルを追加/入れ換えをするには

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルの転送は、パソコンにインストールした付属のソフトウェア「Music Transfer」を使用して、ホーム画面の(スライドショー)の[BGMツール]で行います。詳しくは、102、105ページをご覧ください。

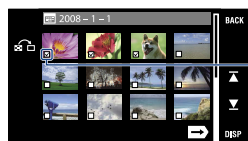
- 本機には8曲までBGMを記録できます。(出荷時には、8曲分(Music1 ～ 8)すべてのBGMが用意されていますが、お好みの曲と入れ換えることができます。)
- 本機で再生できる曲の長さは、1曲最長5分までです。
- BGMファイルが破損するなどして再生ができない場合は、[BGMフォーマット](102ページ)を行って、あらためてBGMファイルを本機に転送し直してください。

画像を削除する

1 ▶(再生)ボタンを押す。

2 削除したい画像を表示して🗑(削除)をタッチする。

3 [実行]をタッチする。

一覧表示画面で削除する

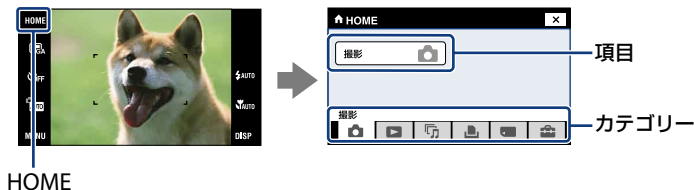
① 一覧表示中に🗑(削除)ボタンをタッチする。
② 削除したい画像にタッチする。
選択した画像に✔マークが付く。

• 一覧表示画面で をタッチすると1枚再生画面に戻ります。
③ ➡ →[実行]の順にタッチする。

• すべての画像を削除するには、66ページをご覧ください。

機能を使いこなすーホーム/メニュー

ホーム画面の操作方法

ホーム画面とは、本機の機能の入り口になる基本の画面です。撮影モード/再生モードにかかわらずアクセス可能です。

1 [HOME]をタッチし、ホーム画面を表示する。

2 設定したいカテゴリーをタッチする。

3 カテゴリー内の設定したい項目をタッチする。

- 機能ガイドが出る場合は[OK]をタッチして次に進んでください。

- PictBridge/USB接続中は、ホーム画面を表示できません。
- シャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- [×]をタッチすると元の画面に戻ります。

ホーム画面表示

[HOME]をタッチすると下記項目が表示されます。
本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。
各項目の詳細は、画面下部のガイドに表示されます。

カテゴリー	項目		
撮影*[1]	撮影(39ページ)		
画像再生	日付ビュー(57ページ) フォルダビュー(57ページ) お気に入り(58ページ)		
スライドショー	スライドショー(30ページ) BGMツール(102ページ)		
		BGMダウンロード	BGMフォーマット
印刷	印刷(69ページ)		
メモリー管理	メモリーツール メモリースティックツール(74ページ)		
		フォーマット 記録フォルダ変更	記録フォルダ作成 コピー
	内蔵メモリーツール(77ページ)		
		フォーマット	
設定	本体設定 本体設定1(78ページ)		
		操作音 設定リセット ハウジング	機能ガイド キャリブレーション スマイルデモモード
	本体設定2(81ページ)		
		USB接続 ビデオ信号出力	コンポーネント出力 TVタイプ
	撮影設定 撮影設定1(83ページ)		
		AFイルミネーター AFモード	グリッドライン デジタルズーム
	撮影設定2(85ページ)		
		縦横判別	オートレビュー
	時計設定(86ページ)		
	表示言語*[2]		

*[1] [撮影モード]で選択しているモードになります。
*[2] 本機では日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

メニュー画面の操作方法

1 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

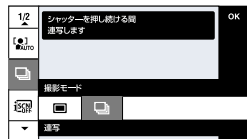
MENU

機能ガイド
[機能ガイド]を[切]にすると、ガイド表示を消すことができます。再生時は消えません(78ページ)。

- モードの違いにより表示される項目が異なります。

2 設定するメニュー項目をタッチする。

- 設定するメニュー項目がかくれている場合は、▲/▼をタッチして表示する。

3 希望の設定項目をタッチする。

4 [OK]をタッチして、メニュー表示を消す。

メニュー項目一覧

本機の状態（撮影時/再生時）や撮影モードによって、設定できるメニュー項目は異なります。本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。

（●：使用可能）

選択しているモード	AUTO	PGM	SCN	EASY	動画

撮影時に表示されるメニュー（47ページ）

	AUTO	PGM	SCN	EASY	動画
画像サイズ	–	–	–	●*1	–
フラッシュ	–	–	–	●*1	–
顔検出	●	●	●*2	–	–
スマイル検出	–	–	●*2	–	–
スマイル検出感度	–	–	●*2	–	–
撮影モード	●	●	●*2	–	–
おまかせシーン認識	●	–	–	–	–
EV	●	–*3	●	–	●
測光モード	–	–*3	–	–	●
フォーカス	–	–*3	–	–	●
ホワイトバランス	–	●	●*2	–	●
水中ホワイトバランス	–	–	●*2	–	–
フラッシュレベル	–	●	–	–	–
赤目軽減	●	●	●*2	–	–
DRO	–	●	–	–	–
カラーモード	–	●	–	–	●
手ブレ補正	–	●	●	–	●
撮影設定	●	●	●	–	●

*1 他のモードに比べ、選べる項目は制限されます（26ページ）。
*2 シーンセレクションのモードによっては使用できません（41ページ）。
*3 プログラムオート時もこれらの設定を変更することができます（43ページ）。

再生時に表示されるメニュー（59ページ）

（日付リスト）
（お気に入り登録/解除）
（ワイドズーム表示）
（加工）
（マルチリサイズ）
（プロテクト）
（印刷）
（再生フォルダ選択）
（画像絞込み）
（ビューモード）
（スライドショー）
（ペイント）
（削除）
DPOF
（回転）
（音量設定）

撮影モードを変更する

撮影モードを切り換えます。

撮影モード：

本機には、4つの静止画撮影モード（オート撮影、プログラムオート撮影、シーンセレクション、かんたん撮影）と1つの動画撮影モードがあります。お買い上げ時は、オート撮影モードに設定されています。

オート以外の撮影モードに変更するには、下記の方法で設定してください。

①撮影モード設定ボタンをタッチする。
②希望の項目をタッチする。
③[OK]をタッチして、設定画面を消す。

AUTO：オート撮影

静止画オート撮影モードです。自動設定で撮影できます。

PGM：プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。（使用可能な機能については38ページをご覧ください。）画面下部に、フォーカス、測光モード、ISO、EVのボタンが出ます（43ページ）。

SCN：シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます（40ページ）。

EASY：かんたん撮影

見やすい表示で、必要最低限の機能を使って静止画を撮影できます（26ページ）。

：動画撮影

音声付きで動画を撮影できます。

場面に合わせて静止画を撮る（シーンセレクション）

シーンセレクションのモード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

ISO 高感度モード
暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影できます。

スマイルシャッターモード
笑顔を検出すると自動で撮影します。詳しくは41ページをご覧ください。

ソフトスナップモード
人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影できます。

風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

夜景＆人物モード＊
夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影できます。

夜景モード＊
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できます。

ビーチモード
海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録します。

スノーモード
雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにします。

打ち上げ花火モード＊
打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

水中モード
ハウシング（防水ケース）を装着したとき、水中をきれいに撮影できます。

高速シャッターモード
屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影するときに使います。

- シャッタースピードが速くなるので、暗い場所で撮影すると画像が暗くなります。

＊（夜景＆人物モード）、（夜景モード）、（打ち上げ花火モード）のときは、シャッタースピードが遅くなり画像がブレやすくなるため、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能について

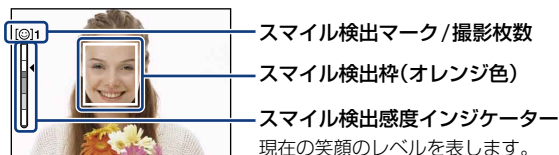
シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。●はお好みの設定ができる機能です。
モードによっては使えない機能があります。

	マクロ/拡大鏡モード	フラッシュモード	顔検出	連写/ブラケット	EV	ホワイトバランス	赤目軽減	スマイル検出/スマイル検出感度
ISO	●/—	⊘⚡	●	—	●	●*1	—	—
	●/—	●	—	—	●	—	—	●
	●/—	●	●*2	●	●	—	●	—
	—/—	⚡/⊘⚡	—	●	●	—	●	—
	●/—	⚡SL	●	—	●	—	●	—
	—/—	⊘⚡	—	—	●	—	—	—
	●/—	⚡/⊘⚡	●	●	●	—	●	—
	●/—	⚡/⊘⚡	●	●	●	—	●	—
	—/—	⊘⚡	—	—	●	—	—	—
	●/●	⚡/⊘⚡	—	●	●	●*3	—	—
	●/—	⚡/⊘⚡	—	●	●	—	●	—

*1) ［ホワイトバランス］の［フラッシュ］は選べません。
*2) ［顔検出］の［タッチ時］は選べません。
*3) ［水中ホワイトバランス］になります。

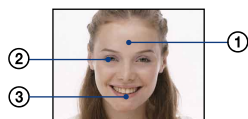
スマイルシャッターモードで撮影する

笑顔を検出すると自動で撮影します。

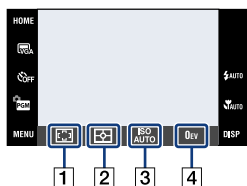
① シーンセレクションを☻（スマイルシャッターモード）にする。
② 被写体に本機を向け、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる。
③ シャッターボタンを深押しする。
　スマイルシャッターがスタンバイになります。

設定したスマイル検出感度のレベル（◀の位置）に達するたびに自動でシャッターを切り最大6枚撮影します。撮影後、スマイルシャッターランプが点灯します（14ページ）。

④ もう一度シャッターボタンを深押しして終了する。

- "メモリースティック デュオ"/内蔵メモリーがいっぱいになるか、6枚撮影されると自動的に終了します。
- [スマイル検出]で優先的に笑顔を検出する被写体を選択することができます（49ページ）。
- 笑顔が検出されない場合は→[スマイル検出感度]（49ページ）を設定してください。
- シャッターボタンを深押しした後にスマイル検出枠（オレンジ色）の表示されているうちの1人が笑えばシャッターが切れます。
- シャッターボタンを深押しした後にカメラと被写体の距離が変わると、ピントが合わなくなる場合があります。また周囲の明るさが変わったりすると、露出が合わなくなる場合があります。
- 下記のような場合は正しく顔検出できないことがあります。
  – 暗すぎる、または明るすぎる場合
  – サングラス、マスク、帽子などで顔の一部が隠れている場合
  – 顔がカメラに向いていない場合
- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- デジタルズームは使えません。
- スマイルシャッターがスタンバイのときズーム倍率を変えられません。

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。
② カメラに対して顔が正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにした方が検出率は高くなります。
③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなります。

プログラムオートで撮る

フォーカス/測光モード/ISO/EV設定ボタンは撮影モードがPGM(プログラムオート撮影)に設定されている時のみ表示されます。

1 フォーカス(43ページ)
2 測光モード(45ページ)
3 ISO(46ページ)
4 EV(46ページ)

フォーカス:ピント合わせの設定

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

✓	(マルチAF)	画面全体を基準に、自動ピント合わせする。 • 被写体が中央にないときなどに便利です。 AF測距枠(静止画のみ)
	(中央重点AF)	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。 • AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。 AF測距枠
	(スポットAF)	非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。 • AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。測距枠からはずれないように手ブレにご注意ください。 AF測距枠

	1.0m	あらかじめ設定した距離の周辺に、すばやく自動でピント合わせする（セミマニュアル）。 • セミマニュアルの場合、画面全体を基準にピント合わせします。 • 同じ距離にある被写体を繰り返し撮影するような場合に便利です。 • 網やガラス越しの撮影など、オートフォーカスが効きにくいときに便利です。
	3.0m	
	7.0m	
	∞（無限遠）	

• AFとは、「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のことです。
• どのモードに設定していても、画面をタッチするとその部分でピント合わせをします（24ページ）。
• ［デジタルズーム］や、［AFイルミネーター］を使用するときは、AF測距枠設定が無効になり、新しいAF測距枠が点線で表示されます。この場合、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
• ［顔検出］が［タッチ時］のときのみ、設定できます。
• 動画のときは、［マルチAF］と［∞］のみになります。
• セミマニュアルの距離設定は多少の誤差を含みます。ズームをT側にしたり、レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。

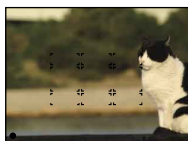
ピントが合わないときは

被写体がフレーム（画面）端にある場合や、［中央重点AF］または［スポットAF］設定の場合、フレーム端の被写体にピントが合わない場合があります。

この場合、以下の方法を使います。

① 被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる（AFロック）。

シャッターボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

② AE/AFロック表示が点滅→点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

測光モード：測光部分の設定

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

✓	**（マルチ）**	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	（スポット） （静止画のみ）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。 • 逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利です。 **スポット測光照準** 被写体をここに合わせる

• 露出について詳しくは、10ページをご覧ください。

• スポット測光や中央重点測光の場合、測光する場所とフォーカス位置を合わせたいときは、［フォーカス］を［中央重点AF］にすることをおすすめします（43ページ）。

• ［顔検出］が［タッチ時］のときのみ、設定できます。

• 画面をタッチしてピント合わせをしたとき（24ページ）は、［マルチ］に固定されます。

ISO：受光感度の調整

ISO感度を設定します。

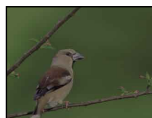
ISO感度小

ISO感度大

✓	ISO AUTO（オート）	暗い場所や動いている被写体を撮る場合、ISO感度を上げると（数値を大きくすると）ブレを軽減できます。 ただし、ISO感度を上げるとノイズが増えます。 撮影状況に応じてISO感度を設定してください。
	ISO 80	
	ISO 100	
	ISO 200	
	ISO 400	
	ISO 800	
	ISO 1600	
	ISO 3200	

- ISO感度について詳しくは、10ページをご覧ください。
- 連写、ブラケット時は[ISO AUTO]、[ISO 80] ～ [ISO 400]までしか選べません。
- 明るい環境下で撮影すると、自動的に階調表現が増し、白とびが軽減されます（[ISO 80]以外のとき）。

EV：露出の補正

露出を手動補正します。

－方向

＋方向

	－2.0EV	**－側**：画像が暗くなる。
✓	0EV	本機が自動設定した露出。
	＋2.0EV	**＋側**：画像が明るくなる。

- 露出について詳しくは、10ページをご覧ください。
- 1/3EV単位で露出値を調節できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

撮影時のメニューを使う

操作方法は37ページ

使えるモードを下記のように説明しています。
操作方法について詳しくは、37ページをご覧ください。

お買い上げ時の設定は ✔ で示しています。

画像サイズ：画像サイズの選択

AUTO PGM SCN EASY

かんたん撮影モードのとき、画像サイズを選びます。

✔	**大**	[10M]で撮影する。
	小	[3M]で撮影する。

フラッシュ：フラッシュの設定

AUTO PGM SCN EASY

かんたん撮影モードのとき、フラッシュの設定を選びます。

✔	**オート**	光量不足または逆光と判別したとき発光する。
	切	使わない。

操作方法は37ページ

顔検出：顔検出機能の設定

AUTO PGM SCN EASY

顔検出機能を使うか使わないかを設定したり、使う場合はピント合わせの優先対象を設定できます。
カメラが人物の顔を判別して、フォーカス/フラッシュ /露出/ホワイトバランス/赤目軽減発光の調整をします。

✓	**(タッチ時)**	画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。
	(オート)	カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。 顔検出マーク 顔検出枠(オレンジ色) 顔検出枠(白色)
	(こども優先)	子どもの顔を優先してピント合わせする。
	(おとな優先)	大人の顔を優先してピント合わせする。

- 顔をタッチすると、優先設定に関わらずその顔が優先されます。
- デジタルズームのとき、顔検出機能は働きません。
- シーンセレクションが (ソフトスナップモード)のとき、常に顔検出が働きます。
- シーンセレクションが (ソフトスナップモード)のとき、[顔検出]の初期値は[オート]になります。
- **EASY**(かんたん撮影)のとき、[顔検出]は[オート]に固定されますが、顔検出枠は表示されません。
- 最大8人の顔を検出できます。ただし、シーンセレクションが (ソフトスナップモード)のときは、4人まで検出します。
- 複数の顔を検出している場合、カメラが主要被写体を判断して優先的にピントを合わせます。主要被写体は顔検出枠がオレンジ色になります。
- シャッターボタンを半押しすると、ピントが合った枠は緑色になります。
- 下記のような場合は正しく顔検出できないことがあります。
  - 暗すぎる、または明るすぎる場合
  - サングラス、マスク、帽子などで顔の一部が隠れている場合
  - 顔がカメラに向いていない場合
- 状況によっては大人、子どもが正しく検出できない場合があります。

操作方法は37ページ

スマイル検出：笑顔検出機能の設定

スマイルシャッター機能の優先対象を選びます。スマイルシャッター機能について詳しくは、41ページをご覧ください。

✓	[☻]（オート）	カメラまかせで笑顔を検出して撮影する。
	（こども優先）	子どもの笑顔を優先して検出し撮影する。
	（おとな優先）	大人の笑顔を優先して検出し撮影する。

- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。
- 顔をタッチすると、優先設定にかかわらずその顔が優先されます。

スマイル検出感度：笑顔検出感度の設定

スマイルシャッター機能で笑顔を検出する感度を設定します。スマイルシャッター機能について詳しくは41ページをご覧ください。

	☻（低）	大笑いで検出する。
✓	☻（中）	普通の笑顔で検出する。
	☻（高）	ほほえみ程度でも検出する。

- 状況によっては笑顔が正しく検出できない場合があります。

操作方法は37ページ

撮影モード：連写の設定

AUTO PGM SCN EASY

シャッターを押し込んだとき、連写するかしないかを設定します。

✓	(通常撮影)	連写しない。
	(連写)	シャッターボタンを押し続けている間、最大100枚連写する。 • フラッシュは（フラッシュ発光禁止）になります。
	BRK±0.3EV	3通りの異なった露出で、静止画を3枚撮影する（ブラケット）。 値が大きいほど、露出のずれも大きくなります。 • 被写体の明るさによってうまく撮影できないときに、ブラケット撮影で露出を変えながら撮影すれば、撮影したあと最適な露出の画像を選ぶことができます。 • 撮影モードが AUTO（オート撮影）のときは、ブラケット撮影はできません。 • フラッシュは（フラッシュ発光禁止）になります。
	BRK±0.7EV	
	BRK±1.0EV	

連写について

- セルフタイマーで連写すると、最大5枚の連続撮影となります。
- 撮影の間隔は約0.64秒です。画像サイズによって撮影の間隔が長くなることがあります。
- バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー / “メモリースティック デュオ”の容量がいっぱいになると、連写は停止します。
- シーンセレクションのモードによっては、連写できない場合があります（41ページ）。
- フォーカス、ホワイトバランス、露出は最初の1枚目に設定された値に固定されます。

ブラケットについて

- フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- 露出補正をしているときは（46ページ）、補正した明るさを基準に露出が変わり撮影されます。
- 撮影の間隔は連写と同等ですが、撮影状況により遅くなることがあります。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した補正量で撮影できない場合があります。
- シーンセレクションのモードによっては、ブラケット撮影できない場合があります（41ページ）。

おまかせシーン認識：カメラが撮影シーンを判断して撮影 AUTO PGM SCN EASY

逆光や夜景など、本機が自動的に撮影状況を認識して撮影する。

✓	（切）	シーン認識機能を使わない。
	（オート）	逆光や夜景などを認識し、最適な設定で撮影する。 本機がシーン認識しなかった場合は、[切]の時と同じ画像が撮影されます。 設定値マーク シーン認識マーク
	（アドバンス）	シーン認識機能を使わない画像と、シーン認識した画像を撮影する。（合計2枚撮影される。） シーン認識マークの横に＋が表示されます。 本機がシーン認識しなかった場合は、1枚しか撮影されません。その場合は[切]の時と同じ画像が撮影されます。

認識するシーンについて

以下のシーンを認識します。本機が最適なシーンを判別すると、各マークが表示されます。マークが表示された状態で半押しすると、マークの色が緑色になり、シーン認識が確定します。

夜景
夜景＆人物
三脚夜景
逆光
逆光＆人物

- 以下のとき、おまかせシーン認識は働きません。
– 拡大鏡撮影時
– 連写時
– デジタルズーム時
- フラッシュは、AUTO（フラッシュオート）または（フラッシュ発光禁止）になります。
- 顔検出機能が[タッチ時]のとき、画面タッチ前におまかせシーン認識を[切]以外にすると、[顔検出]の初期値は[オート]になります。

撮影時の機能を使う

- (三脚夜景)認識は、カメラを三脚に固定していてもカメラに振動が伝わる環境では認識できない場合があります。
- (三脚夜景)認識されると、スローシャッターになる場合があります、撮影中はそのままカメラを動かさないようにしてください。
- 設定値マーク、シーン認識マークは画面表示の設定にかかわらず表示されます(21ページ)。
- 状況によっては、これらのシーンはうまく認識されない場合があります。

EV：露出の補正

AUTO PGM SCN EASY

露出を手動補正します。PGM(プログラムオート撮影)時にEV設定ボタンをタッチして設定する項目と同じです。46ページをご覧ください。

測光モード：測光部分の設定

AUTO PGM SCN EASY

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定します。PGM(プログラムオート撮影)時に測光モード設定ボタンをタッチして設定する項目と同じです。45ページをご覧ください。

フォーカス：ピント合わせの設定

AUTO PGM SCN EASY

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。PGM(プログラムオート撮影)時にフォーカス設定ボタンをタッチして設定する項目と同じです。43ページをご覧ください。

ホワイトバランス：色合いの調整

AUTO PGM SCN EASY

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

✓	WB AUTO(オート)	ホワイトバランスを自動調節する。
	(太陽光)	晴天の屋外や、夕景、夜景、ネオン、花火などに合わせる。
	(曇天)	曇り空や日陰に合わせる。

操作方法は37ページ

	(蛍光灯1)/ (蛍光灯2)/ (蛍光灯3)	[蛍光灯1]：白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯2]：昼白色蛍光灯の光に合わせる。 [蛍光灯3]：昼光色蛍光灯の光に合わせる。
	(電球)	白熱球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。
	WB(フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。 • 動画のときは選べません。

• ホワイトバランスについて詳しくは、11ページをご覧ください。
• ちらつきのある蛍光灯下では、[蛍光灯1]、[蛍光灯2]、[蛍光灯3]を選んでもうまく合わないことがあります。
• [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[ホワイトバランス]は[オート]になります。
• シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります(41ページ)。
• シーンセレクションで[水中モード]を選んでいる場合、ホワイトバランスは[水中ホワイトバランス](54ページ)になります。

水中ホワイトバランス：水中モード時の色合い調整　AUTO PGM SCN EASY

(水中モード)(40ページ)時の色合いを調整します。

✓	(オート)	水中で自然な色合いになるように自動調整する。
	1(水中1)	青色の強い水中に合わせる。
	2(水中2)	緑色の強い水中に合わせる。
	WB(フラッシュ)	水中でのフラッシュ光に合わせる。

- 海の色によっては、[水中1]、[水中2]を選んでもうまく合わないことがあります。
- [フラッシュ]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[水中ホワイトバランス]は[オート]になります。

フラッシュレベル：フラッシュの光量の設定　AUTO PGM SCN EASY

フラッシュの発光量を調節します。

	(−)	発光量を減らす。
✓	STD(標準)	
	+(+)	発光量を増やす。

- フラッシュモードの切り換えについて詳しくは、27ページをご覧ください。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、効果が出ない場合があります。

赤目軽減：赤目軽減機能の設定

フラッシュ撮影時に目が赤く写るのを軽減するため、フラッシュが2回以上予備発光します。

✓	(オート)	顔検出機能が働いているとき、自動で赤目軽減発光する。
	ON(入)	常に赤目軽減発光する。
	OFF(切)	赤目軽減発光しない。

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ブレを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。そうした場合には、撮影後に再生メニューの(加工)で、赤目を補正できます(62ページ)。

操作方法は37ページ

- 顔検出機能を使用しない場合は、[オート]を選択しても赤目軽減は動作しません。
- シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります(41ページ)。

DRO：明るさとコントラストの最適化 AUTO PGM SCN EASY

撮影シーンを分析し、自動補正をおこなって画質を向上させます。

	D-R OFF (切)	補正しない。
✓	D-R(スタンダード)	画面全体の明るさ、コントラストを自動調整する。
	D-R Plus (プラス)	撮影画像の明るさ、コントラストを画像の領域ごとに自動調整する。

- DROとは「Dynamic Range Optimizer」の略で、画像の明暗の差を最適になるように自動補正する機能のことです。
- 撮影状況によっては、補正効果を得ることができない場合があります。
- [プラス]のときは、以下の点にご注意ください。
  – 画像処理に時間がかかります。
  – ISOの値は、[ISO AUTO]、[ISO 80] ～ [ISO 400]までしか選べません。
  – 連写/ブラケットを選ぶと[プラス]は解除され、[スタンダード]になります。

カラーモード：色調の変更 AUTO PGM SCN EASY

画像の鮮やかさを変えたり、特殊効果を加えて撮影できます。

✓	(標準)	標準的な色合いにする。
	V(ビビッド)	鮮やかで深い色合いにする。

撮影時の機能を使う

	(セピア)	古い写真のような色合いにする。
	(モノトーン)	画像を白黒にする。

- 動画撮影時は、[標準]、[セピア]、[モノトーン]に項目が限られます。

手ブレ補正：手ブレ補正の選択　AUTO PGM SCN EASY 動画

手ブレ補正の種類を選びます。

✓	(撮影時)	シャッターボタンを半押しすると手ブレ補正が働く。
	(常時)	常に手ブレ補正が働く。遠くを拡大して撮影するときでも構図を安定させることができます。 • [撮影時]よりもバッテリーの消費が早くなります。
	(切)	使わない。

- AUTO(オート撮影)、**EASY**(かんたん撮影)時は[手ブレ補正]は[撮影時]になります。
- 動画撮影では、選べる項目が[常時]と[切]のみになります。動画撮影の初期設定は、[常時]です。
- 以下のときは、手ブレが補正しきれないことがあります。
  – 手ブレが大きすぎる
  – 夜景撮影時など、シャッタースピードが遅くなる場合

撮影設定：撮影機能の設定　AUTO PGM SCN EASY 動画

撮影機能に関する設定ができます。ホーム画面の(設定)から入る[撮影設定]と同じです。
36、83ページをご覧ください。

ビューモードを選ぶ

“メモリースティック デュオ”使用時、ホーム画面から画像再生の方法(ビューモード)を選ぶことができます。
内蔵メモリーのときは、フォルダビューのみ表示されます。

① [HOME]をタッチし、ホーム画面を表示する。
② ▶(画像再生)をタッチする。
③ 希望のビューモードをタッチする。

一覧表示時は、画面右横のボタンでもビューモードを選ぶことができます。

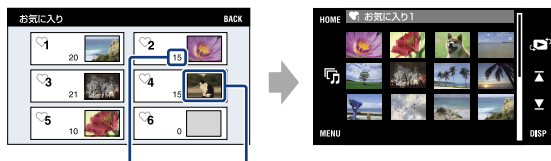
(日付ビュー):日付ごとに表示

“メモリースティック デュオ”に記録した画像を日付ごとに分けて表示します。
お買い上げ時は、[日付ビュー]に設定されています。

(フォルダビュー):フォルダで表示

[メモリーツール]の[記録フォルダ作成]で作成したフォルダごとに表示します。
フォルダを新規作成していない場合は、全画像が「101MSDCF」フォルダに入っています。
フォルダについて詳しくは、70、74ページをご覧ください。

♡(お気に入り):お気に入り登録した画像を表示

お気に入り登録した画像(60ページ)を表示します。

お気に入りに登録している画像枚数　最新日付画像を表示

① 再生したいお気に入り番号をタッチする。
選んだお気に入りが一覧表示される。

② 1枚再生したい場合は、その画像をタッチする。

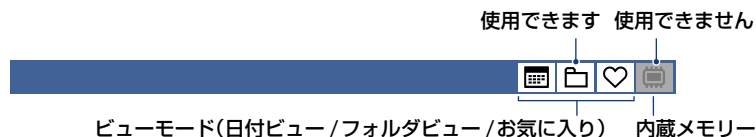
再生時のメニューを使う

操作方法は37ページ

ここでは、再生時に[MENU]をタッチして表示する項目について説明しています。
操作方法についての詳細は、37ページをご覧ください。

白く表示してある再生モードの時に使用できます。

使用できます　使用できません

ビューモード（日付ビュー／フォルダビュー／お気に入り）　内蔵メモリー

（日付リスト）：日付ビューで再生する日付を選択

日付ビューで再生する日付を選択する。

① [MENU]をタッチして、[日付リスト]をタッチする。
日付の一覧（カレンダー）が表示される。

② 表示したい日付をタッチする。

（画像絞込み）：条件に合う画像を絞り込んで再生

画像を絞り込んで表示します。

OFF（切）	絞り込みをしない。
（人物の顔）	指定した条件で、画像を絞り込んで表示する。
（こどもの顔）	
（赤ちゃんの顔）	
（笑顔）	

• 誤って表示/非表示することがあります。
• 当社の従来モデルで撮影した画像では、絞り込みできない場合があります。

再生時の機能を使う

♡（お気に入り登録/解除）：画像をお気に入りに登録/解除

お気に入りの画像を選んで、グループに分けて登録/解除ができます。

（この画像）	選択している画像をお気に入りに登録/解除します。 • 1枚再生時のみ表示されます。
（画像選択）	複数の画像を選んで、お気に入りに登録/解除します。
（日付内全て登録）	選択した日付内すべての画像を登録します。 • 日付ビューで一覧表示したときのみ表示されます。
（日付内全て解除）	選択した日付内/お気に入り内すべての画像を解除します。 • 選んでいるビューモードによって表示される文言が異なります。 • 一覧表示のときのみ表示されます。
（お気に入り内全て解除）	

画像を1枚お気に入りに登録するには

① お気に入りに登録したい画像を表示する。
② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
③ ▲/▼をタッチして♡（お気に入り登録/解除）を表示させ、タッチする。
④ （この画像）をタッチする。
⑤ 登録したいお気に入り番号をタッチする。
⑥ [実行]をタッチする。

画像を選択してお気に入りに登録するには

① 1枚再生、または一覧表示中に[MENU]をタッチする。
② ▲/▼をタッチして♡（お気に入り登録/解除）を表示させ、タッチする。
③ （画像選択）をタッチする。
④ 登録したいお気に入り番号をタッチする。

1枚再生画面のとき：

⑤ I◀/▶I で登録したい画像を表示して、画像の中央をタッチする。
　選択した画像に ✔ マークが付く。
⑥ I◀/▶I で続けて登録したい画像を表示して、画像の中央をタッチする。
⑦ ➡ →[実行]の順にタッチする。

一覧表示画面のとき：

⑤登録したい画像のサムネイル画像をタッチする。
選択した画像に ✔ マークが付く。

⑥他の画像も登録したいときは手順⑤を繰り返す。

⑦ → [実行]の順にタッチする。

• 一覧表示画面で をタッチすると1枚再生画面に戻ります。

日付内すべての画像を選ぶには

① 一覧表示中に[MENU]をタッチする。

② ▲/▼をタッチして ♡(お気に入り登録/解除)を表示させ、タッチする。

③ (日付内全て登録)をタッチする。

④ 登録したいお気に入り番号をタッチする。

⑤ [実行]をタッチする。

お気に入りを解除するには

「画像を選択してお気に入りに登録するには」の手順と同様に、お気に入りを解除したい画像をタッチする。
✔ マークが消えます。

• (日付内全て解除)/(お気に入り内全て解除)をタッチすると、選択している日付/お気に入り内すべての画像の登録が解除できます。

(ビューモード)：ビューモードの切り換え

ビューモードを選びます。ホーム画面から選ぶ (画像再生)と同じです。
57ページをご覧ください。

(ワイドズーム表示)：静止画を16：9で表示

再生時、4:3または3:2の画角の静止画を16:9の画角で再生します。上下部分を少し切って表示します。

タッチパネルの中央部をタッチするとワイドズームの終了画面になります。

• 電源を切る、または撮影モードに切り換えると解除されます。
• ワイドズームされる画像は4:3または3:2の画像のみです。動画、16:9の画像、縦撮りした画像はズームされません。

(スライドショー):連続再生

この機能は、再生画面に出る (スライドショー)ボタンと同じです。
30ページをご覧ください。

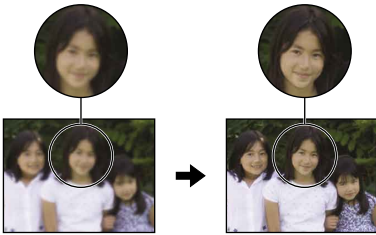
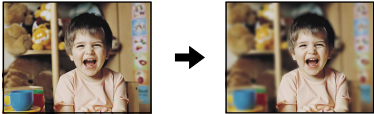
(加工):撮影した画像の加工

撮影した画像に補正や特殊効果をかけ、新しいファイルとして記録します。
元の画像はそのまま残ります。

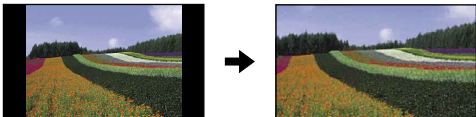
静止画を加工するには

① 1枚再生画面から加工したい画像を選ぶ。
② [MENU]をタッチする。
③ (加工)をタッチし、希望のモードをタッチする。
④ 各モードの操作方法に従って加工する。

- 加工画面で[OK]をタッチすると、現在設定している効果が確認できます((トリミング)、 (赤目補正)時は除く)。
- テレビにつないでいるときは、画像の加工ができません。

(トリミング)	再生ズームして画像の一部を切り取ります。 ① 画像をタッチするか、W/T(ズーム)レバーでトリミングする範囲までズームする。 ② ▲/▼/◀/▶で位置を決め、 をタッチする。 ③ ◀/▶で画像サイズを選び、 をタッチする。 ④ [実行]をタッチする。 • トリミングすると画質は劣化します。 • 画像によってトリミングできる画像サイズは異なります。
(赤目補正)	フラッシュ撮影時に赤く映った目を、補正します。 赤目補正が完了したら、[実行]をタッチする。 • 画像によっては補正できない場合があります。

(ピントくっきり補正)	中心とする枠を決め、画像をくっきりと補正します。 ① 中心とする枠をタッチし、➡ をタッチする。 ② [実行]をタッチする。 • 画像によっては、十分な補正がかからなかったり、画像が劣化する場合があります。
(ソフトフォーカス)	中心点を決め、周囲をぼかして被写体を引き立たせます。 ① 加工する中心点をタッチし、➡ をタッチする。 ② ◀/▶で加工する範囲を選び、➡ をタッチする。 ③ ◀/▶で効果の強さを選び、➡ をタッチする。 ④ [実行]をタッチする。
(パートカラー)	中心点を決め、周囲を白黒にして被写体を引き立たせます。 ① 加工する中心点をタッチし、➡ をタッチする。 ② ◀/▶で加工する範囲を選び、➡ をタッチする。 ③ [実行]をタッチする。
(魚眼)	中心点を決め、周囲を魚眼レンズ風にします。 ① 加工する中心点をタッチし、➡ をタッチする。 ② ◀/▶で効果の強さを選び、➡ をタッチする。 ③ [実行]をタッチする。

（クロスフィルター）	光源を中心に光を放射し、きらびやかな印象にしあげます。 ① ◀/▶で加工する長さを選び、→ をタッチする。 ② ◀/▶で効果の強さを選び、→ をタッチする。 ③ [実行]をタッチする。
（放射）	中心点を決め、静止画に動きを表現します。 ① 加工する中心点をタッチし、→ をタッチする。 ② ◀/▶で加工する範囲を選び、→ をタッチする。 ③ [実行]をタッチする。
（レトロ）	フォーカスをぼかして周辺の光量を落とし、古いカメラで撮影したような柔らかな画像に仕上げます。 ① ◀/▶で加工する範囲を選び、→ をタッチする。 ② ◀/▶で効果の強さを選び、→ をタッチする。 ③ [実行]をタッチする。
（スマイル）	人物の顔を笑顔にします。加工できる顔を検出すると、その顔に枠がつきます。 ① ◀/▶で効果の強さを選び、→ をタッチする。 ② [実行]をタッチする。 • 画像によっては、加工できない場合があります。

（ペイント）：静止画へ描き込み

静止画に描き込みをして、新しいファイルとして記録します。
71ページをご覧ください。

（マルチリサイズ）：用途に合わせて画像サイズを変更

撮影した画像の画角やサイズを変え、新しいファイルとして記録します（リサイズ）。
ハイビジョンテレビ鑑賞用に16：9の画角に変換、ブログ/Eメール添付用等にVGAサイズに変換できます。

ハイビジョン対応テレビ（HD）	4:3/3:2から16:9の画角に変換し、2Mで保存。
ブログ/Eメール（WEB）	16:9/3:2から4:3の画角に変換し、VGAで保存。

① サイズや画角を変更したい画像を表示する。
② [MENU]をタッチして（マルチリサイズ）をタッチする。
③ 希望のサイズ（HD（ハイビジョン対応テレビ）または WEB（ブログ/Eメール））をタッチする。
④ 切り抜きたい部分を指定して、→ をタッチする。
⑤ [実行]をタッチする。

- 画像サイズについて詳しくは、11ページをご覧ください。
- 動画はマルチリサイズできません。
- VGAサイズの画像を HD（ハイビジョン対応テレビ）の画像サイズに変換することはできません。
- 画像を拡大してマルチリサイズすると、画像が劣化する場合があります。

🗑（削除）：画像の削除

1枚再生画面、一覧表示画面から希望の画像を選んで削除することができます。

（この画像）	選択している画像を削除します。 • 1枚再生時のみ表示されます。
（画像選択）	複数の画像を選んで、削除します。
（日付内全て）	選択している日付内/フォルダ内すべての画像を削除します。 • 選んでいるビューモードによって、表示される文言が異なります。
（フォルダ内全て）	

画像を1枚削除するには

① 削除したい画像を表示する。

② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

③ ▲/▼をタッチして 🗑（削除）を表示させ、タッチする。

④ （この画像）をタッチする。

⑤ [実行]をタッチする。

画像を選択して削除するには

① 1枚再生、または一覧表示中に[MENU]をタッチする。

② ▲/▼をタッチして 🗑（削除）を表示させ、タッチする。

③ （画像選択）をタッチする。

1枚再生画面のとき：

④ I◀/▶I で削除したい画像を表示して、画像の中央をタッチする。
選択した画像に ✔ マークが付く。

⑤ I◀/▶I で続けて削除したい画像を表示して、画像の中央をタッチする。
削除を中止するには、取り消したい画像をもう一度タッチして ✔ マークを消します。

⑥ ➡ →[実行]の順にタッチする。

操作方法は37ページ

一覧表示画面のとき：

④ 削除したい画像のサムネイル画像をタッチする。
選択した画像に ✔ マークが付く。

⑤ 他の画像も削除したいときは手順④を繰り返す。

⑥ [→] →[実行]の順にタッチする。

• 一覧表示画面で をタッチすると１枚再生画面に戻ります。

日付内/フォルダ内すべての画像を削除するには

① １枚再生、または一覧表示中に[MENU]をタッチする。

② ▲/▼をタッチして (削除)を表示させ、タッチする。

③ (日付内全て)/ (フォルダ内全て)をタッチする。

④ [実行]をタッチする。

(プロテクト)：誤消去の防止

画像を誤って消さないように保護(プロテクト)します。
プロテクトした画像には、マークが付きます。

(この画像)	選択している画像の削除不可の設定/解除をします。 • １枚再生時のみ表示されます。
(画像選択)	画像を選んで、削除不可の設定/解除をします。
(日付内全て設定)	選択している日付内/フォルダ内/お気に入り内すべての画像をプロテクトします。 • 選んでいるビューモードによって、表示される文言が異なります。 • 一覧表示のときのみ表示されます。
(フォルダ内全て設定)	
(お気に入り内全て設定)	
(日付内全て解除)	選択している日付内/フォルダ内/お気に入り内すべての画像のプロテクトを解除します。 • 選んでいるビューモードによって、表示される文言が異なります。 • 一覧表示のときのみ表示されます。
(フォルダ内全て解除)	
(お気に入り内全て解除)	

操作方法は37ページ

画像を1枚プロテクトするには

① プロテクトしたい画像を表示する。
② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
③ ▲/▼をタッチして(プロテクト)を表示させ、タッチする。
④ (この画像)をタッチする。

画像を選択してプロテクトするには

① 1枚再生、または一覧表示中に[MENU]をタッチする。
② ▲/▼をタッチして(プロテクト)を表示させ、タッチする。
③ (画像選択)をタッチする。

1枚再生画面のとき：

④ ◀/▶で、プロテクトしたい画像を表示して、画像の中央をタッチする。
　選択した画像に✔マークが付く。
⑤ ◀/▶で、続けてプロテクトしたい他の画像を表示して、画像の中央をタッチする。
⑥ → [実行]の順にタッチする。

一覧表示画面のとき：

④ プロテクトしたい画像のサムネイル画像をタッチする。
　選択した画像に✔マークが付く。
⑤ 他の画像もプロテクトしたいときは、手順④を繰り返す。
⑥ → [実行]の順にタッチする。

• 一覧表示画面でをタッチすると1枚再生画面に戻ります。

日付内/フォルダ内/お気に入り内すべての画像を選ぶには

① 一覧表示中に[MENU]をタッチする。
② ▲/▼をタッチして(プロテクト)を表示させ、タッチする。
③ (日付内全て設定)/(フォルダ内全て設定)/(お気に入り内全て設定)をタッチする。
④ [実行]をタッチする。

• 999枚を超えてファイルがある場合は、すべての画像のプロテクトはできません。
• フォーマットするとプロテクトした画像も削除され、元に戻せません。
• プロテクトには時間がかかる場合があります。

プロテクトを解除するには

「画像を選択してプロテクトするには」の手順と同様に、プロテクトを解除したい画像をタッチする。
(プロテクト)マークが消えます。

• (日付内全て解除)/(フォルダ内全て解除)/(お気に入り内全て解除)をタッチすると、選択している日付/フォルダ/お気に入り内すべての画像のプロテクトが解除できます。

DPOF：プリント予約マーク

プリントしたい画像にプリント予約マーク(**DPOF**)を付けます。
111ページをご覧ください。

(印刷)：接続プリンターからプリント

撮影した画像を印刷します。
108ページをご覧ください。

(回転)：静止画の回転

静止画を左右に回転します。

① 回転させたい画像を表示する。
② [MENU]をタッチし、メニューを表示する。
③ ▲/▼をタッチして(回転)を表示させ、タッチする。
④ [↶ ↷]をタッチし、画像を回転させる。
⑤ [実行]をタッチする。

• プロテクトされている画像、動画は回転できません。
• 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
• パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

再生時の機能を使う

(再生フォルダ選択):再生フォルダの選択

再生したい画像の入っているフォルダを選びます。

① ▲/▼で再生したい画像が入っているフォルダを選ぶ。

② [実行]をタッチする。

再生フォルダ選択を中止するには

手順②で、[終了]または[BACK]をタッチする。

フォルダについて

本機は撮影した画像を"メモリースティック デュオ"の特定のフォルダに記録します。このフォルダを変更したり、新規で作成したりできます。

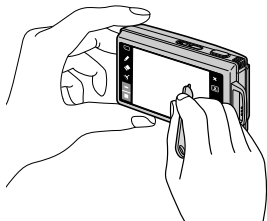
- フォルダを作成するには、[記録フォルダ作成](74ページ)をご覧ください。
- 記録先のフォルダを変更するには、[記録フォルダ変更](75ページ)をご覧ください。
- "メモリースティック デュオ"に複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初/最後の画像に下記のマークが表示されます。
  - :前のフォルダに移動可能
  - :後ろのフォルダに移動可能
  - :前/後のフォルダに移動可能

(音量設定):音量の調節

スライドショー、動画再生時の音量を調節します。

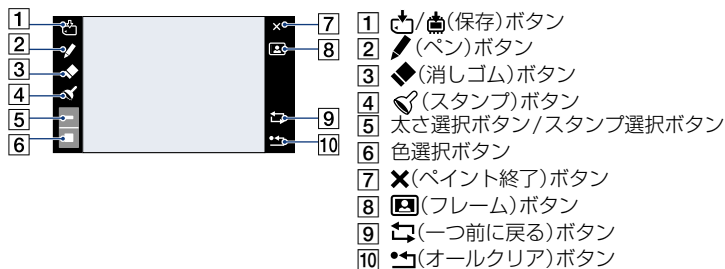
- 動画再生中、スライドショー中に調節することもできます(28、30ページ)。

静止画へ描き込みをする（ペイント）

静止画に描き込みをして、新しいファイルとして記録します。付属のペイントペンを使ってください。

- 動画にはペイントできません。
- 撮影した画像をテレビで見ているときは、ペイントできません。

ペイントを表示するには

① ▶（再生）ボタンを押す。
② [MENU] → （ペイント）の順にタッチする。

1 ／（保存）ボタン
2 （ペン）ボタン
3 （消しゴム）ボタン
4 （スタンプ）ボタン
5 太さ選択ボタン／スタンプ選択ボタン
6 色選択ボタン
7 ✕（ペイント終了）ボタン
8 （フレーム）ボタン
9 （一つ前に戻る）ボタン
10 （オールクリア）ボタン

文字や絵を描くには

① をタッチする。
② 太さ選択ボタンをタッチしてお好みの太さを選択し、[OK]をタッチする。
③ 色選択ボタンをタッチしてお好みの色を選択し、[OK]をタッチする。
④ 文字や絵を描く。

スタンプするには

① をタッチする。
② スタンプ選択ボタンをタッチしてお好みのスタンプを選択し、[OK]をタッチする。
③ スタンプする。

フレームを付けるには

① をタッチする。
② ◀/▶でお好みのフレームを選択して、[OK]をタッチする。

間違えたときは

◆をタッチして、ペイントペンで消したいところをこする。または ボタンをタッチして、一つ前の状態に戻る(もう1度 ボタンをタッチすると、最新の状態に戻ります)。

- 消しゴムの太さはペンの太さと同様に、太さ選択ボタンで選べます。太さは、ペンと共通になります。

ペイントを全部消すには

① をタッチする。
② [実行]をタッチする。
　ペイントが全て消える。

取り消すときは、[キャンセル]をタッチする。

保存するには

① / をタッチする。
② 保存する画像サイズを[VGA]または[3M]から選び、[実行]をタッチする。
　選択中の記録フォルダに新しいファイルとして記録されます。

取り消すときは、[キャンセル]をタッチする。

ペイントを終了するには

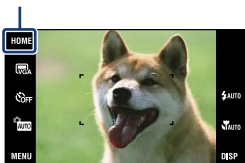
① ✕をタッチする。
② [実行]をタッチする。

取り消すときは、[キャンセル]をタッチする。

メモリー管理/設定画面の操作方法

ホーム画面の (メモリー管理)、(設定)で、本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

1 [HOME]をタッチし、ホーム画面を表示する。

HOME

2 (メモリー管理)または (設定)をタッチする。

3 設定を変更したい項目にタッチする。

4 設定を変更したい項目をタッチして、希望の設定値をタッチする。

(設定)を選んだときは、画面右側の▲/▼をタッチして、他の項目を表示することもできます。

5 [OK]をタッチする。

設定変更を中止するには

[キャンセル]が選択項目にある場合は,[キャンセル]をタッチする。ない場合は、[BACK]または[×]をタッチして戻る。

• 選んだ設定は、電源を切ってからも保持されます。

操作方法は73ページ

メモリーツール — メモリースティックツール

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合のみ表示されます。

フォーマット

“メモリースティック デュオ”をフォーマット（初期化）します。市販の“メモリースティック デュオ”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① [フォーマット]をタッチする。
「メモリースティックのデータがすべて消去されます」というメッセージが表示される。
② [実行]をタッチする。
フォーマットが実行される。

フォーマットを中止するには

手順②で、[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

記録フォルダ作成

“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成します。

① [記録フォルダ作成]をタッチする。
「記録フォルダを作成します」というメッセージが表示される。

② [実行]をタッチする。
既存番号+1のフォルダが作成される。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録される。

記録フォルダ作成を中止するには

手順②で、[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

- フォルダを新規作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。
- フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成できます。

操作方法は73ページ

- 一度作成したフォルダを本機では削除できないため、パソコンなどで削除してください。
- 画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚のため、フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。
- 「画像ファイルの保存先とファイル名」（97ページ）もご覧ください。

記録フォルダ変更

画像を記録するフォルダを変更します。

① [記録フォルダ変更]をタッチする。
記録フォルダ選択画面が表示される。

② [実行]をタッチする。

記録フォルダ変更を中止するには

手順②で、[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- 記録した画像を別のフォルダには移動できません。

コピー

内蔵メモリーに記録した画像を、"メモリースティック デュオ"に一括コピーします。

① 充分な空き容量のある"メモリースティック デュオ"を本体に入れる。
② [コピー]をタッチする。
「内蔵メモリーのデータがすべてコピーされます」というメッセージが表示される。
③ [実行]をタッチする。
コピーが実行される。

操作方法は73ページ

コピーを中止するには

手順③で、[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

- 充分に充電したバッテリーをご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのためデータを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後に"メモリースティック デュオ"を本体から取りはずし、[内蔵メモリーツール]の[フォーマット]を行ってください(77ページ)。
- データをコピーすると"メモリースティック デュオ"内に新しいフォルダが作成されます。コピー先のフォルダを指定することはできません。
- データのコピーを行っても、DPOF(プリント予約)マークの設定はコピーされません。

操作方法は73ページ

メモリーツール — 内蔵メモリーツール

“メモリースティック デュオ”が本機に入っている場合は表示されません。

フォーマット

内蔵メモリーの管理領域をフォーマット(初期化)します。

• フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① [フォーマット]をタッチする。
「内蔵メモリーのデータがすべて消去されます」というメッセージが表示される。
② [実行]をタッチする。
フォーマットが実行される。

フォーマットを中止するには

手順②で、[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

操作方法は73ページ

本体設定 — 本体設定1

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

操作音

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**入**	タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、ブザー/シャッター音が鳴る。
	切	音は鳴らない。

機能ガイド

本機を操作したときに、機能の説明が表示されます。

✓	**入**	機能ガイドを表示する。
	切	機能ガイドを表示しない。

• 再生時は、[切]にしても表示されます。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。
[設定リセット]を実行しても、内蔵メモリーに記録されている画像は削除されません。

① [設定リセット]をタッチする。
「全ての設定内容をリセットします」というメッセージが表示される。
② [実行]をタッチする。
設定リセットが実行される。

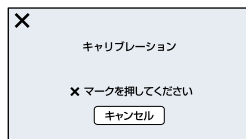
設定リセットを中止するには

手順②で、[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

• 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

操作方法は73ページ

キャリブレーション

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。このような症状になったときキャリブレーションを行います。
ペイントペンを使って画面に表示される×マークを押す。キャリブレーションを途中でやめるには[キャンセル]をタッチします。この場合、途中までの調整は反映されません。

×マークの位置は移動します。
正しい位置を押さなかった場合、キャリブレーションが行われません。×マークを押しなおしてください。

ハウジング

ハウジング（防水ケース）装着時、ボタンの働きを変更します。

	入（）	変更する。
✓	**切**	変更しない。

[ハウジング]を[入]にすることによって、下記のように変更します。
– 画面をタッチしてピント合わせをすることができません。
– 画面表示が常に[ノーマル]になります。
– 機能の一部が制限されます。（アイコン表示がされません。）

• ハウジングの取扱説明書も合わせてご覧ください。

スマイルデモモード

スマイルシャッター機能のデモンストレーションを見ることができます。

	入	スマイルシャッターモード時にデモンストレーションを実行する。
✓	**切**	実行しない。

① シーンセレクションを☻(スマイルシャッターモード)にする(40ページ)。
② 被写体に本機を向け、シャッターボタンを深押しする。
　デモンストレーションが始まる。

- シャッターボタンを押さなくても、約15秒間操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。
- デモンストレーションが始まった後に、シャッターボタンを深押しすると、一時的にデモモードからぬけます。
- 笑顔を検出するとシャッターが切れますが、記録はされません。
- 実際にスマイルシャッター撮影するときは、必ず[切]にしてください。

本体設定 — 本体設定2

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをマルチ端子専用ケーブルで接続するときのモードを設定します。

✓	オート	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する（95、108ページ）。 • [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。 • [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。
	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する（108ページ）。
	PTP/MTP	本機とパソコンを接続した場合はコピーウィザードが自動的に起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の画像をパソコンにコピーします。（Windows Vista/XP、Mac OS Xに対応）
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する（95ページ）。

コンポーネント出力

本機とテレビをHD出力アダプターケーブル（別売）を使って接続する場合に、接続するテレビに合わせてビデオ信号の種類を設定します（87ページ）。

✓	HD（D3）	D3/D4/D5端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。
	SD	D1/D2端子があるテレビとつなぐときに選ぶ。

操作方法は73ページ

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する（欧州など）。

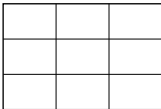
TVタイプ

再生時、接続するテレビのタイプに合わせて設定します。

✓	16:9	ワイドテレビで再生するときに選びます。 **ワイド（16:9）画像**　**4:3画像**
	4:3	4:3テレビで再生するときに選びます。 **ワイド（16:9）画像**　**4:3画像**

撮影設定 — 撮影設定 1

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

AF イルミネーター

AF イルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が発光して、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面にON が表示されます。

✓	**オート**	AF イルミネーターを使う。
	切	使わない。

- AF イルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離：約 2.5 m（ズーム：W）まで / 約 2.0 m（ズーム：T）まで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AF イルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- 以下のときは、AF イルミネーターは使えません。
  - セミマニュアル（44ページ）のとき
  - シーンセレクションが（夜景モード）、（風景モード）、（打ち上げ花火モード）、（高速シャッターモード）に設定されているとき
  - [ハウジング] が [入] のとき
- AF イルミネーターを使用するときは、AF 測距枠設定は無効になり、AF 測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先した AF 動作になります。
- AF イルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

グリッドライン

グリッドラインを画面に表示して撮影すると、グリッドラインを基準にして水平 / 垂直のライン合わせができます。

	入	グリッドラインを表示する。
✓	**切**	グリッドラインを表示しない。

- グリッドラインは記録されません。

操作方法は73ページ

AFモード

自動ピント合わせ（オートフォーカス）の種類を選びます。

✓	**シングル**	シャッターボタンを半押しすると自動ピント合わせする。動きのない被写体を撮影するときに便利。
	モニタリング	シャッターボタンを半押しする前から自動ピント合わせする。ピント合わせの時間を短くできる。 • ［シングル］よりもバッテリーの消耗が早くなります。

- 顔検出機能が働いているとき、AFモード設定は無効になります。
- セミマニュアル設定時は［シングル］になります。

デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率（5倍）まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

✓	**スマート（スマートズーム）（sQ）**	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限します。［10M］、［3:2（8M）］、［16:9（7M）］のときは使用できません。 • スマートズームの総合ズーム倍率は、下の表をご覧ください。
	プレシジョン（プレシジョンデジタルズーム）（PQ）	画像サイズの設定にかかわらず、光学ズーム5倍含む、総合ズーム倍率約10倍までズームをしますが、光学ズーム倍率を超えると、画像は劣化します。
	切	デジタルズームを使わない。

スマートズームの画像サイズと総合ズーム倍率（光学ズーム5倍含む）

画像サイズ	総合倍率
5M	約7.0倍
3M	約8.9倍
VGA	約28倍
16:9（2M）	約9.5倍

- シーンセレクションが☻（スマイルシャッターモード）のとき、デジタルズームは使えません。

操作方法は73ページ

撮影設定 — 撮影設定2

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

縦横判別

縦位置で撮影したとき、回転情報を記録して画像を縦に表示します。

✓	**入**	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使わない。

- 縦位置の画像は左右が黒く表示されます。
- 本機の撮影角度によっては、画像の縦横向きを正しく記録できない場合があります。画像の向きが正しく記録されなかった場合は、69ページの方法で回転することができます。

オートレビュー

静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示します。

✓	**入**	オートレビューを使う。
	切	使わない。

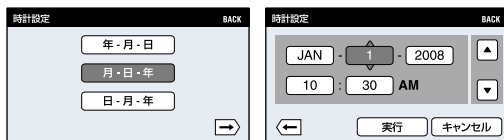
- シャッターボタンを半押しすると記録画像の表示が消え、すぐに次の撮影ができます。

操作方法は73ページ

時計設定

時計設定

時刻を再設定します。

① ホーム画面で (設定)から[時計設定]を選ぶ。
② [時計設定]をタッチする。
③ 希望の日付表示設定をタッチして、 をタッチする。
時計設定の画面になります。

④ 設定する項目をタッチしてから、▲/▼をタッチして数値を設定する。
⑤ [実行]をタッチする。

時計設定を中止するには

手順⑤で[キャンセル]または[BACK]をタッチする。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

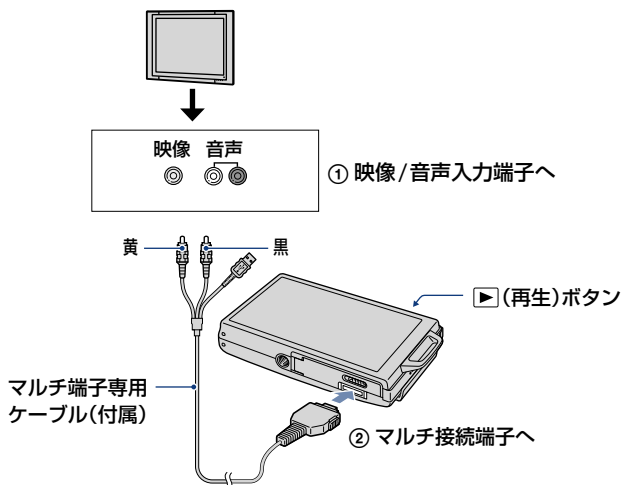
テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見ることができます。
接続方法は、接続するテレビの種類によって異なります。
[TVタイプ](82ページ)をご覧ください。

• TV側に映る画面には、アイコン表示などはでません。

付属のマルチ端子専用ケーブルでテレビに接続して画像を楽しむ

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル(付属)で接続する。

• テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはマルチ端子専用ケーブルの音声プラグ(黒)を左音声端子(白)に接続する。

2 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。

• テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

3 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示される。◀/▶をタッチして画像を選ぶ。

• 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(82ページ)。

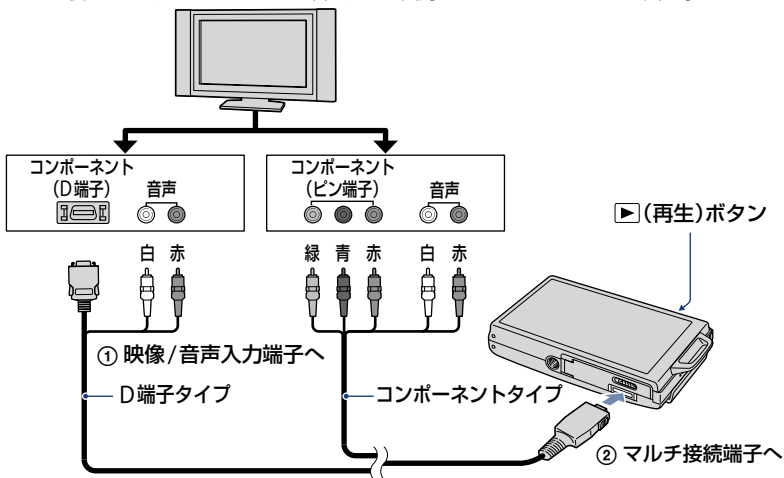
ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむ

HD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、本機で撮影した画像を高画質*でお楽しみいただけます。
本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

* 画像サイズを[VGA]にして撮った画像は高画質再生できません。

- [ワイドズーム表示]で、4:3または3:2の画角の静止画を16:9の画角で再生できます(61ページ)。
- [マルチリサイズ]で、ハイビジョンテレビ鑑賞用に16:9の画角に変換できます(65ページ)。

1 本機とハイビジョンテレビをHD出力アダプターケーブル(別売)で接続する。

- お使いのハイビジョンテレビに合ったHD出力アダプターケーブルをお買い求めください。

2 テレビの電源を入れ、入力切り換えをする。

- テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

3 ▶(再生)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

撮影した画像がテレビに表示される。
⏮/⏭をタッチして画像を選ぶ。

- あらかじめ、ホーム画面で (設定)を選び、[本体設定2]の[コンポーネント出力]を[HD(D3)]に設定してください(81ページ)。
- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります(82ページ)。
- [HD(D3)]出力中は、動画の再生はできません。[コンポーネント出力]を[SD]に設定してください(81ページ)。

"ブラビア プレミアムフォト"について

本機は"ブラビア プレミアムフォト"に対応しています。
"ブラビア プレミアムフォト"に対応したソニー製テレビにHD出力アダプターケーブル(別売)で接続してHD(D3)出力すると、写真を今までになかった感動のFull HD高画質で快適にお楽しみいただけます。
"ブラビア プレミアムフォト"とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。

- テレビ側の設定も必要となります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

Windowsパソコンでできること

Macintoshについては、「Macintoshをお使いのときは」をご覧ください（104ページ）。

まずはソフトウェア（付属）をインストールする（92ページ）

- 下記のソフトウェアがインストールされます。
  - 「Picture Motion Browser」
  - 「Music Transfer」

パソコンに画像を取り込む（95ページ）

- 「Picture Motion Browser」を使って、画像をパソコンに取り込む。
- 「Picture Motion Browser」、「MusicTransfer」を使って、楽しみの場を広げる。
  - パソコン内の画像を見る
  - 画像を編集する
  - 撮影した画像の位置を地図上に表示する（別売のGPSユニット、およびインターネット接続環境が必要です）
  - データディスクを作成する（書き込み型CDドライブまたはDVDドライブが必要です）
  - 画像に日付を挿入して保存/印刷する
  - スライドショーのBGMを追加/入れ換える

サイバーショットオフィシャルWEBサイトでは、パソコンとの接続方法やソフトウェアなどの最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）: Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP* SP2/Windows Vista*
- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

USB端子: 標準装備

「Picture Motion Browser」、「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）: Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP* SP2/Windows Vista*

CPU: Intel Pentium III 500 MHz以上（Intel Pentium III 800 MHz以上を推奨）

メモリ: 256 MB以上（512 MB以上を推奨）

ハードディスク: インストール時に必要な容量：約400 MB

ディスプレイ: 1024 × 768 ドット以上

* 64bit版は除きます。

パソコン接続についてのご注意

- その他、各OSが求める動作環境を満たしていることが必要です。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（high-speed転送）が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート]（お買い上げ時の設定）、[Mass Storage]、[PictBridge]、[PTP/MTP]の4種類があります。ここでは[オート]および[Mass Storage]での使いかたを説明します。[PictBridge]、[PTP/MTP]については、81ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソフトウェア(付属)をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア(付属)をインストールします。

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[コンピュータ](Windows XP/2000では[マイコンピュータ])→ (SONYPICTUTIL)の順にダブルクリックする。
- 自動再生画面が表示される場合がありますが、「Install.exe.の実行」を選択し、画面の指示に従ってインストールしてください。

2 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

使用許諾画面が表示される。

4 内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがあります。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

- 以下のソフトウェアがインストールされます。
  - Picture Motion Browser
  - Music Transfer

ソフトウェアをインストールすると、デスクトップ上に「Picture Motion Browser」、「PMBガイド」、「Music Transfer」のショートカットが表示されます。	
PMB - Picture Motion Browser	ダブルクリックすると「Picture Motion Browser」が起動します。
PMB ガイド	ダブルクリックすると「PMBガイド」を表示します。
Picture Packag...	ダブルクリックすると「Music Transfer」が起動します。

「Picture Motion Browser」（付属）について

本機で撮影した静止画や動画をより いっそうご活用いただくために、「Picture Motion Browser」が収録されています。ここでは、「Picture Motion Browser」の概要を紹介します。

「Picture Motion Browser」のご紹介

「Picture Motion Browser」をご利用になると、次のことができます。

- 本機で撮影した画像をパソコンに取り込み、表示できます。
- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧できます。
- パソコンにある画像を、"メモリースティック デュオ"にコピーして本機で見られるようにできます。
- 静止画の補正（赤目補正など）、印刷、メール送信、撮影日時の変更ができます。
- GPSユニット（別売）を利用すれば撮影した画像の位置情報を地図上に表示することができます。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷できます。
- 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- 画像をWebにアップロードできます。
- 詳しいご利用方法については、「PMBガイド」をご覧ください。

「PMBガイド」を起動するには

デスクトップ上の （PMBガイド）をダブルクリックする。
スタートメニューから起動するときは、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[PMBガイド]の順にクリックする。

「Picture Motion Browser」を起動/終了するには

起動する

デスクトップ上の [Picture Motion Browser]をダブルクリックする。
スタートメニューから起動するときは、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[PMB - Picture Motion Browser]の順にクリックする。

- 初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。この機能は、ソフトウェアの更新などのお知らせがある場合に通知を行います。後で設定し直すこともできます。

終了する

画面右上の[ ]ボタンをクリックする。

「Picture Motion Browser」で画像をパソコンに取り込む

パソコンとの接続方法や最新情報は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

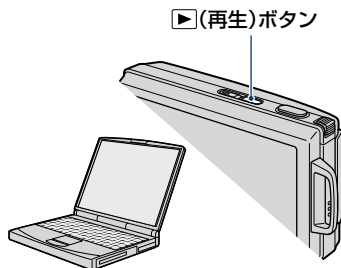
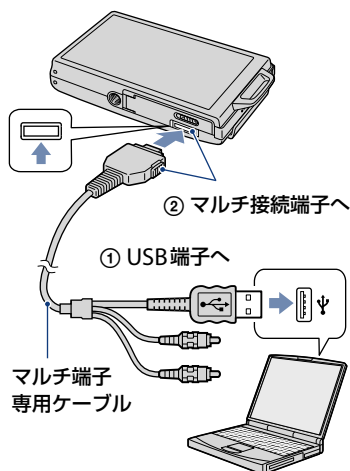
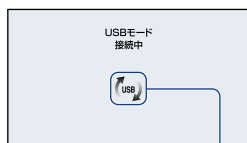
本機とパソコンを準備する

1 画像を記録した"メモリースティック デュオ"を本機に入れる。

- 内蔵メモリーの画像をコピーする場合は、手順1は不要です。

2 充分に充電したバッテリーを本機に入れる、または AC アダプター（別売）とマルチ端子専用 USB・AV・DC IN ケーブル（別売）で本機とコンセントをつなぐ。

- 残量の少ないバッテリーを使用して画像をコピーすると、バッテリー切れのため、データを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

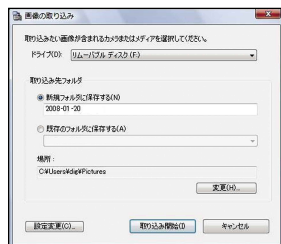
3 パソコンの電源を入れ、▶（再生）ボタンを押す。

本機とパソコンをつなぐ

本機の画面に「接続中」と表示される。

初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

* 通信中は USB が表示されます。
その間はパソコンの操作をしないでください。USB が表示されたら操作できます。

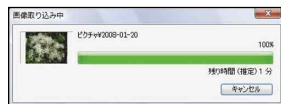
- 画面に「Mass Storage」と表示されないときは、本機の [USB 接続] を [Mass Storage] に設定してください（81 ページ）。

画像をパソコンに取り込む

1 「本機とパソコンをつなぐ」のように本機とパソコンを接続する。

本機とパソコンの接続が終わると、「Picture Motion Browser」の［画像の取り込み］画面が自動起動します。

- メモリースティックスロットをご使用になる場合は、99ページをご覧ください。
- 自動再生ウィザードが起動したら終了してください。

2 画像を取り込む。

［取り込み開始］をクリックすると、画像の取り込みが開始されます。

初期設定では、「ピクチャ」(Windows XP/2000では「マイ ピクチャ」)に取り込み日を名前にしたフォルダが作成され、その中に画像が取り込まれます。

- 「Picture Motion Browser」の機能について詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

画像をパソコンで見る

取り込みが完了すると、「Picture Motion Browser」が起動して、取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。

- 初期設定では、「閲覧フォルダ」として「ピクチャ」(Windows XP/2000では「マイ ピクチャ」)フォルダが設定されています。

撮影日ごとにカレンダー上に整理して見るなどができます。詳しくは「PMBガイド」をご覧ください。

例：月表示画面

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、①から④の手順をあらかじめ行ってください。

- マルチ端子専用ケーブルを抜く
- “メモリースティック デュオ”を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、“メモリースティック デュオ”を本機に入れる
- 本機の電源を切る

① タスクトレイの切断アイコンをダブルクリック。

Windows Vista

ここをダブルクリック

Windows XP/Windows 2000

ここをダブルクリック

② (USB大容量記憶装置デバイス)→[停止]をクリック。

③ 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリック。

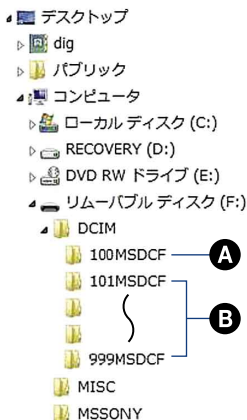
④ [OK]をクリック。

パソコンとの接続が切断されます。

- Windows Vista/XPをお使いの方は、手順④は不要です。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、“メモリースティック デュオ”または内蔵メモリー内のフォルダにまとめられています。

Windows Vistaの例

Ⓐ フォルダ作成機能のないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ。

Ⓑ 本機で撮影した画像ファイルのフォルダ。
新しくフォルダ作成していない場合は、以下のとおりです。
– “メモリースティック デュオ”：「101MSDCF」のみ
– 内蔵メモリー：「101_SONY」のみ

- 「100MSDCF」フォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- 「MISC」フォルダは、本機で記録/再生できません。
- 画像ファイル名は、下記のようになります。
  - 静止画ファイル：DSC0□□□□.JPG
  - 動画ファイル：MOV0□□□□.MPG
  - 動画撮影時に記録されるインデックス画像ファイル：MOV0□□□□.THM

  □□□□は0001 ～ 9999の半角数字、動画ファイルとそのインデックス画像ファイル名の数字部分は同じです。
- フォルダについては、70、74ページをご覧ください。

「Picture Motion Browser」を使わずに画像をパソコンに取り込む

「Picture Motion Browser」を使わずに画像をパソコンに取り込むには、下記の方法があります。

メモリースティックスロット付きパソコンの場合：

本機から"メモリースティック デュオ"を取りはずしてメモリースティック デュオ アダプターに入れ、パソコンに挿入して、画像データをコピーする。

- Windows 95/98/98 Second Edition/NT/Meをお使いの場合でも、"メモリースティック デュオ"をメモリースティックスロットに挿入して、画像データをコピーできます。
- "メモリースティック PRO デュオ"が認識されない場合は、119ページをご覧ください。

メモリースティックスロットなしのパソコンの場合：

USB接続を行い、次の操作で画像をパソコンにコピーする。

- 画像の例は"メモリースティック デュオ"の画像をパソコンにコピーするときのものです。
- 本機はWindows 95/98/98 Second Edition/NT/MeのOSには対応しておりません。
  メモリースティックスロットなしのパソコンの場合は、市販のメモリースティック リーダーライターをお使いください。
  内蔵メモリーに記録した画像を取り込むには、それらの画像を"メモリースティック デュオ"にコピーして取り込んでください。

画像をパソコンに取り込む –Windows Vista/XP

ここでは、パソコンの「ドキュメント」(Windows XPでは「マイドキュメント」)に画像を取り込む例を説明します。

1 本機とパソコンを準備する。

「本機とパソコンを準備する」(95ページ)と同じ準備をします。

2 マルチ端子専用ケーブルで接続する。

「本機とパソコンをつなぐ」(95ページ)と同じ操作で接続します。

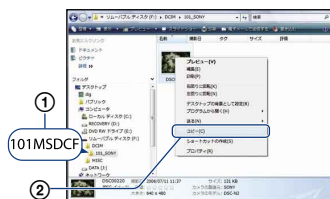
- 「Picture Motion Browser」をインストール済みの場合は「Picture Motion Browser」の「画像の取り込み画面」が起動しますが、[キャンセル]を選んで終了してください。

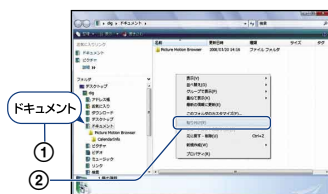
3 パソコンで自動再生ウィザードが起動するので、[フォルダを開いてファイルを表示](Windows XPでは[フォルダを開いてファイルを表示する]→[OK])をクリックする。

- 自動再生ウィザードが起動しない時：
  →「Windows 2000使用時について」

パソコンで楽しむ

4 [DCIM]フォルダをダブルクリックする。

5 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックして開く。次に、取り込みたい画像ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]を選ぶ。

• 画像ファイルの保存先については、97ページをご覧ください。

6 [ドキュメント]（Windows XPでは[マイドキュメント]）フォルダをダブルクリックして開く。次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。

[ドキュメント]（Windows XPでは[マイドキュメント]）フォルダに画像がコピーされる。

• コピー先に同じファイル名の画像があるときは、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
  上書きすると、元のファイルデータは消えます。上書きしない場合は、ファイル名を希望の名称に変更してからコピーします。ただし、ファイル名を変更する（101ページ）と本機で再生できなくなる場合があります。

Windows 2000使用時について

本機とパソコンを接続し、[マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]の順にダブルクリックします。
次に、「画像をパソコンに取り込む－Windows Vista/XP」の手順4以降を行ってください。

パソコン内の画像を“メモリースティック デュオ”にコピーして本機で見る

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
パソコンにコピー後、"メモリースティックデュオ"から消去した画像をもう一度本機で見るには、「Picture Motion Browser」を使って本機に書き出します。

- 画像サイズによっては再生できない画像があります。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生を保証しません。

1 **本機とパソコンを接続し、「Picture Motion Browser」を起動する。（94、95ページ）**

2 **メイン画面で書き出す静止画を選ぶ。**

3 **［活用］メニューから、［外部プログラムから開く］→［画像書き出しツール］の順に選ぶ。**

4 **以降、画面の操作手順に従って“メモリースティック デュオ”に書き出す。**

- 「Picture Motion Browser」の使い方について詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

「Picture Motion Browser」を使わずに画像を本機に書き戻すには

- 下記の手順でコピーした画像は、本機での日付ビュー表示、画像絞り込み、お気に入り登録はできません。フォルダビュー（57ページ）で画像を再生してください。
- 本機設定のファイル名を変更していない場合、手順①と②は必要ありません。

① 画像ファイルを右クリックし、［名前の変更］をクリックする。

② ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する。□□□□には、0001から9999までの半角数字を入れる。
  - 上書きの警告が出た場合は、別の数字を入れ直してください。
  - パソコンによっては、静止画の拡張子「JPG」、動画の拡張子「MPG」が表示されます。拡張子は変更しないでください。

③ 画像を右クリック→［コピー］をクリック。

④ ［コンピュータ］（Windows XP/2000では［マイ コンピュータ］）内の［リムーバブルディスク］または［SonyMemoryStick］をダブルクリック。

⑤ ［DCIM］フォルダ内の［□□□MSDCF］フォルダを右クリックし、［貼り付け］をクリック。
  - □□□には、100～999までの半角数字が入ります。

- フォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成（74ページ）してから画像ファイルのコピーを行ってください。

「Music Transfer」(付属)を使う

CD-ROM(付属)に収録されている「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」を使ってBGMの追加/入れ換えをする

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

1 [HOME]をタッチして、ホーム画面を表示する。

2 (スライドショー)をタッチし、[BGMツール]をタッチする。

3 [BGMダウンロード]をタッチする。

「PCと接続してください」というメッセージが表示される。

4 本機とパソコンをUSB接続する。

5 「Music Transfer」を起動する。

6 画面の操作手順に従って、BGMファイルの追加/入れ換えを行う。

- 出荷時に保存されていた曲を再び本機に戻すときは、
  ① 手順3で[BGMフォーマット]を行う。
  ② 「Music Transfer」で「すべて初期の曲に戻す」を実行する。
  本機の曲がすべてお買い上げ時に設定されていた曲に戻り、[スライドショー]の[BGM]は[切]になる。
- [設定リセット](78ページ)をしてもお買い上げ時のBGM設定に戻すことができますが、同時に他の設定もお買い上げ時の設定に戻ります。
- 「Music Transfer」の詳しい使いかたについては、「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

i-Jump エンジン（付属）を使う

i-Jump サービスは、本機で撮影した画像をパソコンや携帯電話に簡単に送信し、閲覧できるサービスです。
i-Jump エンジンを使って、携帯電話やパソコンに画像を送信します。

i-Jump エンジンを起動するには

1 **「Picture Motion Browser」で送りたい画像を選ぶ。**

2 **メニューの「活用」→「ネットワークサービス」→「i-Jump サービス（携帯・PC に送る）」の順に選ぶ。**

i-Jump エンジンが起動します。

- i-Jump エンジンの操作について詳しくは、i-Jump エンジンのヘルプをご覧ください。

i-Jump サービスのご利用には、カスタマー登録が必要です。（メールアドレスのみでお試し利用も可能です。）
詳しくは、i-Jump サービスホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/i-Jump/

Macintoshをお使いのときは

Macintoshに画像を取り込むことができます。

- 「Picture Motion Browser」は、Macintoshには対応していません。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込む時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X（v10.1 ～ v10.5）

USB端子：標準装備

「Music Transfer」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Mac OS X（v10.3 ～ v10.5）

CPU：iMac、eMac、iBook、PowerBook、Power Mac G3/G4/G5シリーズ、Mac mini

メモリ：64 MB以上（128 MB以上を推奨）

ハードディスク：インストール時に必要な容量：約250 MB

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（high-speed転送）が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには［オート］（お買い上げ時の設定）、［Mass Storage］、［PictBridge］、［PTP/MTP］の4種類があります。ここでは［オート］および［Mass Storage］での使いかたを説明します。［PictBridge］、［PTP/MTP］については、81ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

画像を取り込んで見る

1 本機とMacintoshを準備する。

「本機とパソコンを準備する」（95ページ）と同じ準備をします。

2 マルチ端子専用ケーブルで接続する。

「本機とパソコンをつなぐ」（95ページ）と同じ操作で接続します。

3 画像ファイルをMacintoshにコピーする。

① ［デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン］→［DCIM］→［取り込みたい画像の入ったフォルダ］の順にダブルクリック。

② 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップ。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

- 画像ファイルの保存先とファイル名については、97ページをご覧ください。

4 Macintoshで画像を見る。

[ハードディスクアイコン]→[画像ファイル]の順にダブルクリックすると画像が開く。

パソコンとの接続を切断するには

以下の操作を行いたいときは、あらかじめ"メモリースティック デュオ"またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。パソコンとの接続が切断されます。

- マルチ端子専用ケーブルを抜く
- "メモリースティック デュオ"を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、"メモリースティック デュオ"を本機に入れる
- 本機の電源を切る

「Music Transfer」を使ってBGMの追加/入れ換えをする

「Music Transfer」を使って、出荷時から本機に用意されているBGMファイルをお好みの曲と入れ換えることができます。また、BGMファイルの削除や追加を行うこともできます。

「Music Transfer」で取り込むことができる曲の種類は下記のとおりです。

- パソコンのハードディスクに保存されたMP3ファイル
- 音楽CDの曲
- 工場出荷時に本機に保存されている曲

「Music Transfer」をインストールするには

- インストール前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- インストールするにはコンピューターの管理者権限が必要です。

① Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM(付属)をディスクドライブに入れる。

② (SONYPICTUTIL)をダブルクリック。

③ [Mac]フォルダの中の[MusicTransfer.pkg]をダブルクリック。
インストールが始まる。

BGMファイルの追加/入れ換えをするには

102ページの「「Music Transfer」を使ってBGMの追加/入れ換えをする」をご覧ください。

テクニカルサポート

その他のサポート情報や、製品に関するお問い合わせは、こちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

「サイバーショットステップアップガイド」を見る

「サイバーショットハンドブック」をインストールすると、同時に「サイバーショットステップアップガイド」もインストールされます。
本機のより良い使い方や、別売品の紹介をしています。

Windowsで見る

デスクトップ上の [ステップアップガイド]をダブルクリックする。

スタートメニューから起動するときは、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ステップアップガイド]の順にクリックする。

Macintoshで見る

1 **[stepupguide]フォルダ内の[stepupguide]フォルダをパソコンにコピーする。**

2 **[stepupguide]→[language]→[JP]の順に選び、[JP]フォルダ内のすべてのファイルを、手順1でパソコンにコピーした[stepupguide]フォルダ内の[img]フォルダに上書きコピーする。**

3 **コピーが完了したら、[stepupguide]フォルダ内の"stepupguide.hqx"をダブルクリックして解凍し、"stepupguide"をダブルクリックする。**

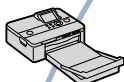
- お使いのMacintoshにHQXファイルの解凍ソフトが インストールされていない場合は、Stuffit Expanderをインストールしてください。

静止画をプリントするには

[16:9]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。あらかじめご確認ください（121ページ）。

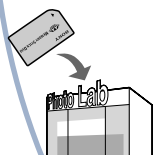
ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）（108ページ）

PictBridge対応プリンターに本機を直接接続してプリントします。

ダイレクトプリントする（"メモリースティック"対応プリンター使用）

"メモリースティック"対応プリンターでプリントします。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使ってプリントする

CD-ROM収録のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。
日付を入れてプリントできます。

お店でプリントする（111ページ）

プリントサービス店に、画像を撮影した"メモリースティック デュオ"を持参します。プリントしたい画像にあらかじめDPOF（プリント予約）マークを付けておくこともできます。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

PictBridge

- 「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。
- 動画はプリントできません。
- 本機の画面で が点滅したら（プリンターからのエラー通知）、接続しているプリンターを確認してください。

操作1：本機を準備する

本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。[USB接続]の[オート]モードで認識されるプリンターに接続する場合は、操作1は不要です。

- プリントの途中で電源が切れないように、充分に充電したバッテリーのご使用をおすすめします。

1 [HOME]をタッチし、ホーム画面を表示する。

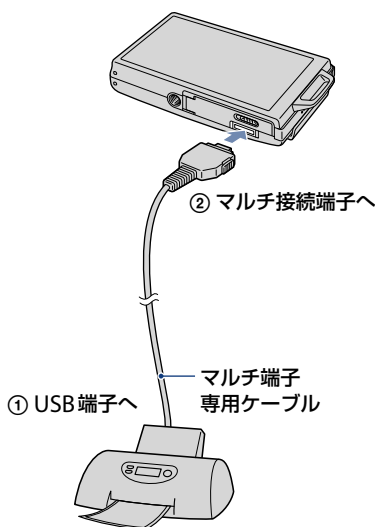
2 (設定)をタッチし、[本体設定]をタッチする。

3 [本体設定2]の、[USB接続]をタッチする。

4 [PictBridge]をタッチする。

USB接続が設定される。

操作2：本機とプリンターをつなぐ

1 本機とプリンターを接続する。

2 プリンターの電源を入れ、▶(再生)ボタンを押す。

接続が完了すると、画面に
マークが表示される。

画像とプリントする画像を選ぶ画面が表示される。

操作3：プリント画像を選択する

1 [MENU]をタッチし、メニューを表示する。

2 ▲/▼をタッチして(印刷)を表示させ、(印刷)をタッチする。

3 希望の項目を選ぶ。

[この画像]を選んだとき

選んでいる画像を印刷できます。操作4へ進む。

[画像選択]を選んだとき

複数の画像を選んで印刷できます。

① 画像をタッチする。
選択した画像に✔マークが付く。

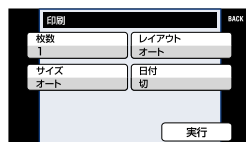
② ➡ をタッチする。

③ [実行]をタッチする。

[フォルダ内全て]、[日付内全て]、[お気に入り内全て]を選んだとき

[実行]をタッチして、操作4へ進む。

操作4：プリントする

1 希望の設定項目をタッチして印刷設定する。

[枚数]

指定した画像のプリント枚数を選ぶ。

- インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらないことがあります。

[レイアウト]

1枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。

[サイズ]

用紙サイズを選ぶ。

[日付]

日時を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。

- [日付]で[年月日]を選んだ場合、86ページで選んだ表示順の年月日が挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

2 [実行]をタッチする。

画像がプリントされる。

- (PictBridge接続中)マークが画面に表示されているときは、マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

(PictBridge接続中)マーク

操作5:プリントを終了する

操作2の画面に切り替わったことを確認し、マルチ端子専用ケーブルを本機からはずす。

お店でプリントする

画像を撮影した"メモリースティック デュオ"をプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、DPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。"メモリースティック デュオ"にコピーして、プリントサービス店にお持ちください。

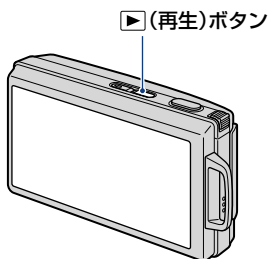
DPOF（ディーポフ）規格とは

Digital Print Order Formatの略です。DPOF（プリント予約）マークを付けて、プリントしたい画像を"メモリースティック デュオ"上に指定することができます。

- DPOF対応プリンター、PictBridge対応プリンターでも、プリント予約マークを付けた画像をプリントできます。
- 動画はプリント予約マークが付けられません。
- プリント予約マークは999枚までしか付けられません。

お店に"メモリースティック デュオ"を持参するときには

- 対応している"メモリースティック デュオ"の種類はお店にお問い合わせください。
- "メモリースティック デュオ"に対応していないプリントサービス店の場合は、CD-Rなどに画像データをコピーして持参してください。
- メモリースティック デュオ アダプターも持参してください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。
- 日付を写真に挿入したいときは、お店にご相談ください。

選択中の画像にプリント予約マークを付ける

1 ▶（再生）ボタンを押す。

2 マークを付けたい画像を表示する。

3 [MENU]をタッチする。

4 [DPOF]をタッチし、DPOF☑（この画像）をタッチする。

画像にDPOF（プリント予約）マークが付く。

プリント予約マークを消すには

マークを消したい画像を選び、手順3と4を繰り返します。

画像を選んでプリント予約マークを付ける

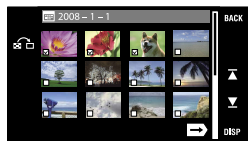
1 **1枚再生、または一覧表示中に[MENU]をタッチする。**

2 **[DPOF]をタッチし、DPOF(画像選択)をタッチする。**

3 **マークを付けたい画像をタッチする。**

タッチした画像に✔マークが付く。

1枚再生時

一覧表示時

4 **➡ をタッチする。**

5 **[実行]をタッチする。**

画面に DPOF マークが付く。

- 一覧表示画面で をタッチすると1枚再生画面に戻ります。

中止するには

手順5で[終了]または[BACK]をタッチする。

プリント予約マークを消すには

マークを消したい画像をタッチする。

一度にまとめて画像の選択/解除をする

1 **一覧表示中に、[MENU]をタッチする。**

2 **[DPOF]をタッチし、[フォルダ内全て設定/フォルダ内全て解除]、[日付内全て設定/日付内全て解除]、[お気に入り内全て設定/お気に入り内全て解除]のいずれかを選ぶ。**

- 選んでいるビューモードによって、表示される文言は異なります。

3 **[実行]をタッチする。**

中止するには

手順3で[終了]または[BACK]をタッチする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 114 ～ 123ページの項目をチェックし、本機を点検する。
画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、124ページをご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（78ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる。

• 内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

以下の項目をクリックすると、項目別の症状と原因/処置にジャンプします。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れる。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける。
- バッテリーの寿命です（131ページ）。新しいバッテリーと交換する。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れ直す。
- バッテリーの寿命です（131ページ）。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける。
- バッテリーの寿命です（131ページ）。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャーを使って充電してください。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”の空き容量を確認する。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する（34ページ）。
  – “メモリースティック デュオ”を交換する。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画撮影時は、撮影モードを🎞以外にする。
- 動画撮影時は、撮影モードを🎞にする。

- 動画撮影時、画像サイズが[640(ファイン)]になっているときは、下記いずれかを行う。
  – 画像サイズを[640(ファイン)]以外にする。
  – "メモリースティック PRO デュオ"を入れる。

スマイルシャッター撮影ができない。

- 笑顔が検出されない場合は撮影されません。
- シャッターボタンを深押しする(41ページ)。
- スマイルデモモードが[入]になっている。[切]にする(80ページ)。

画面に被写体が写らない。

- 再生モードになっている。▶(再生)ボタンを押して撮影モードにする(28ページ)。

手ブレ補正が効かない。

- 液晶画面に(手ブレOFF)が表示されていると、手ブレ補正は効いていません。
- 暗所では、手ブレ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- NRスローシャッター機能が働いている(17ページ)。故障ではありません。
- [DRO]が[プラス]になっている(55ページ)。故障ではありません。

ピント(フォーカス)が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。最短撮影距離(レンズ先端からW側約8 cm、T側約80 cm)より離して撮影する。または(拡大鏡入)モードにし、W側約1cm ～ 20cmの距離で撮影する(27ページ)。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの(夜景モード)、(風景モード)、(打ち上げ花火モード)が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。
- セミマニュアルになっているときは、オートフォーカスに戻す(43ページ)。
- 「ピントが合わないときは」(44ページ)をご覧ください。

ズームできない。

- (拡大鏡入)モード時、光学ズームは使えません。
- 動画撮影時はデジタルズームは使えません。
- 画像サイズによってはスマートズームができません(84ページ)。
- スマイルシャッターがスタンバイのとき、ズーム倍率を変えられません。

フラッシュ撮影ができない。

- フラッシュの設定が (フラッシュ発光禁止)になっている(27ページ)。
- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  - 連写またはブラケット撮影しているとき(50ページ)
  - シーンセレクションの (高感度モード)、(夜景モード)、(打ち上げ花火モード)が選ばれているとき(41ページ)
  - 動画撮影時
- (拡大鏡入)、またはシーンセレクションの (風景モード)、(ビーチモード)、(スノーモード)、(水中モード)、(高速シャッターモード)が選ばれているときは、(フラッシュ強制発光)にする(27ページ)。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした白く丸い点が写っている。

- 空気中の粒子(ほこり、花粉など)がフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません(13ページ)。

近接撮影(マクロ撮影/拡大鏡撮影)ができない。

- シーンセレクションの (風景モード)、(夜景モード)、(打ち上げ花火モード)が選ばれているときは、近接撮影できません(41ページ)。
- シーンセレクションの (スマイルシャッターモード)が選ばれているときは、(拡大鏡入)モード撮影はできません。
- (拡大鏡入)モードが選ばれている場合の撮影範囲は、約1cm ～ 20cmです。

マクロ撮影が解除できない

- マクロ解除の機能はありません。AUTO(オート)の場合は、そのまま望遠での撮影が可能です。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません(121ページ)。「Picture Motion Browser」を使用すると、日付を入れて保存/印刷することができます(94ページ)。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。露出補正する(46ページ)。

液晶画面が明るすぎる/暗すぎる。

- 画面の明るさを調整する(22ページ)。

画像が暗い。

- 逆光になっています。測光モード選択（45ページ）または露出補正（46ページ）をする。

画像が明るい。

- 露出補正する（46ページ）。

画像の色が正しくない。

- ［カラーモード］を［標準］にする（55ページ）。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象で、白や黒、赤、紫などの縦線がでます。故障ではありません。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- ［赤目軽減］を［オート］または［入］にする（54ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影する。
- 室内を明るくして撮影する。
- ［赤目補正］で加工する（62ページ）。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません（2ページ）。

連写できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいです。不要な画像を削除する（34ページ）。
- バッテリーの残量が足りない。充電されたバッテリーを取り付ける。

同じ画像が数枚撮影される。

- ［撮影モード］が［連写］になっている。または［おまかせシーン認識］が［アドバンス］になっている（50、51ページ）。

画像を見る

再生できない。

- ▶(再生)ボタンを押す(28ページ)。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです(101ページ)。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する(97ページ)。
- スマイルシャッターがスタンバイのときは、再生できません。シャッターボタンを深押しして、スタンバイを終了する。
- 当社の従来モデルで撮影した"メモリースティック デュオ"では再生できない場合があります。フォルダビューで再生する(57ページ)。
- パソコン内の画像を「Picture Motion Browser」を使わずに"メモリースティック デュオ"にコピーしたためです(101ページ)。フォルダビューで再生する(57ページ)。

撮影日時が表示されない。

- [表示設定]が[シンプル]または[画像のみ]になっている。[DISP]をタッチして[ノーマル]にする(21ページ)。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

画面の左右が黒く表示される。

- [縦横判別]が[入]になっている(85ページ)。

ボタンやアイコンが消えてしまった。

- 撮影時、画面右上をタッチしていると、ボタンやアイコンが一時的に消えます。指が離れると再び表示されます。
- [表示設定]が[画像のみ]になっている。[DISP]をタッチして[ノーマル]または[シンプル]に設定する(21ページ)。

スライドショー時に音楽(BGM)が流れない。

- 「Music Transfer」を使って本機に音楽を入れる(102ページ)。
- 音量設定とスライドショーの設定を確認する(30ページ)。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認する(82ページ)。
- 接続が正しいか確認する(87ページ)。
- マルチ端子専用ケーブルがUSB端子に接続されている場合は、はずす(97ページ)。
- HD(D3)出力中に、動画を再生しようとしている。ハイビジョン画質で動画を見ることはできません。[コンポーネント出力]を[SD]に設定してください(81ページ)。

画像を削除する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除する（67ページ）。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

対応しているOSがわからない。

- 「パソコンの推奨環境」を確認する（91、104ページ）。

“メモリースティック”スロット付きパソコンで“メモリースティック PRO デュオ”が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが“メモリースティック PRO デュオ”に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、バイオのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- “メモリースティック PRO デュオ”非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください（95、104ページ）。パソコンが“メモリースティック PRO デュオ”を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- 本機の電源が入っているか確認する。
- バッテリー残量が少ないときは、充電されたバッテリーを取り付ける。またはACアダプター（別売）を使用する（95ページ）。
- [USB接続]を[Mass Storage]にする（81ページ）。
- 接続には、マルチ端子専用ケーブル（付属）を使う（95ページ）。
- 一度パソコンと本機からマルチ端子専用ケーブルを抜いて再びしっかりと差し込む。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずす。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続する（95ページ）。

画像をコピーできない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続する（95ページ）。
- OSに対応した手順でコピーする（96、104ページ）。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影した場合、画像をパソコンへコピーできないことがあります。本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影する（74ページ）。

USB接続をしたときに「Picture Motion Browser」が自動起動しない。

- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする（95ページ）。

画像を再生できない。

- 「Picture Motion Browser」をお使いの場合は、「PMBガイド」をご覧ください（94ページ）。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

「Picture Motion Browser」の使い方が分からない。

- 「PMBガイド」をご覧ください（94ページ）。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（95ページ）。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンからコピーした画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダにコピーする（97ページ）。
- 正しい手順で操作する（101ページ）。
- Picture Motion Browserを使わずにコピーした場合、日付ビューでは画像が表示されません。フォルダビューでご覧ください。

"メモリースティック デュオ"

本機に入らない。

- 正しい向きで入れる。

誤ってフォーマットしてしまった。

- "メモリースティック デュオ"内のデータはすべて消去され、元に戻せません。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが再生/記録できない。

- 本機に"メモリースティック デュオ"が入っている。取りはずす。

内蔵メモリー内のデータを“メモリースティック デュオ”にコピーできない。

- “メモリースティック デュオ”の空き容量がない。充分な空き容量のある“メモリースティック デュオ”にコピーする。

“メモリースティック デュオ”やパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない。

- “メモリースティック デュオ”やパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16:9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「Picture Motion Browser」を使って印刷すると日付挿入ができます（94ページ）。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。
- [USB接続]を[PictBridge]にする（81ページ）。
- マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直す。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがマルチ端子専用ケーブルで正しく接続されているか確認する。
- プリンターの電源が入っているか確認する。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に[終了]を選ぶと、再びプリントできない場合があります。マルチ端子専用ケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しないときは、マルチ端子専用ケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直す。
- 動画はプリントできません。
- 本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

- (PictBridge接続中)マークが消える前に、マルチ端子専用ケーブルを抜いていないか確認する。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応してない。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。[日付]を[切]にしてプリントしてください(109ページ)。

プリントしたい用紙サイズが選択できない。

- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度マルチ端子専用ケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていない。本機の用紙サイズ設定を変更する(109ページ)か、プリンターの用紙設定を変更する。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

タッチパネル

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- 画面を調節（[キャリブレーション]）する（79ページ）。
- [ハウジング]が[入]になっている（79ページ）。

ペイントペンの先をあてた位置がずれて表示される。

- 画面を調節（[キャリブレーション]）する（79ページ）。

その他

ファイル番号をリセットできない。

- 本機では、記録メディアを取り換えてもファイル番号はリセットされません。リセットするには、本機で[フォーマット]（74、77ページ）をしてから、[設定リセット]（78ページ）をしてください。ただし、すべてのデータが消去され、日時を含めたすべての設定が解除されます。

レンズがくもる。

- 結露している。電源を切って約1時間そのままにしてから使用する。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 日付/時刻を設定し直す（86ページ）。
- 充電式バックアップ電池が放電しています。充電したバッテリーを入れ、電源を切ったまま24時間以上放置してください。

日付/時刻を変更したい。

- 日付/時刻を設定し直す（86ページ）。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでソニーの相談窓口にご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常。電源を入れ直す。

C:13:□□

- データが読めない/書けない。電源を入れ直すか"メモリースティック デュオ"を数回抜き差しする。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままである。または、フォーマットしていない"メモリースティック デュオ"を入れた。フォーマットする(74、77ページ)。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた。またはデータが壊れている。"メモリースティック デュオ"を交換する。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きている。設定リセット(78ページ)してから、電源を入れる。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

(バッテリー残量表示)

- バッテリーの残量が少ない。すぐにバッテリーを充電する。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

このバッテリーは使えません

- NP-BD1(付属)またはNP-FD1(別売)以外のバッテリーを使っている。

システムエラー

- 電源を入れ直す。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直す。

メモリースティックを入れ直してください

- "メモリースティック デュオ"を入れ直す。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている(129ページ)。
- "メモリースティック デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック デュオ"端子が汚れている。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている(129ページ)。

アクセス禁止のメモリースティックです

- アクセス制限つきの"メモリースティック デュオ"を使っている。

メモリースティックフォーマットエラー
内蔵メモリーフォーマットエラー

- フォーマットし直す（74、77ページ）。

メモリースティックがロックされています

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除する。

内蔵メモリーの残量がありません
メモリースティックの残量がありません

- 不要な画像やデータを消去する（34ページ）。

読み出し専用のメモリースティックです

- この"メモリースティック デュオ"への画像記録や消去はできません。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていない。
- "メモリースティック デュオ"のフォルダ内に再生可能な画像が記録されていない。
- スライドショー時に、スライドショーできるファイルが存在しないフォルダを選択している。

フォルダエラー

- 上３桁の番号が同じフォルダが"メモリースティック デュオ"内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するか、フォルダを作成する（74、75ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダが"メモリースティック デュオ"内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生した。
  パソコンで画像を加工したファイルや本機以外で撮影した画像は本機での再生は保障しません。

読み出し専用フォルダです

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択する（75ページ）。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除する（67ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。

無効な操作です

- デジタルズーム時、または拡大鏡モード時に画面をタッチした。上記のモードではタッチしてピントを合わせることはできません。

対象を検出できませんでした

- 画像によっては加工できない場合があります。

（手ブレ警告表示）

- 光量不足のため、手ブレが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用したり、手ブレ補正をオンにする。または、三脚などで本機をしっかりと固定する。

640（ファイン）に対応していません

- [640（ファイン）]の動画に対応しているのは"メモリースティック PRO デュオ"のみ。"メモリースティック PRO デュオ"を入れるか、画像サイズを[640（ファイン）]以外に設定する。

マクロは無効です

- マクロが使えない設定になっている（41ページ）。

フラッシュの操作は無効です

- フラッシュが使えない設定になっている（41ページ）。

ズームは無効です

- （拡大鏡入）時に、[デジタルズーム]が[切]になっている。または（拡大鏡入）時に、[10M]、[3:2（8M）]または[16:9（7M）]の画像サイズでスマートズームしようとしている（84ページ）。

制限枚数をこえています

- [画像選択]で選択できるファイルは100枚までです。
- [日付内全て]/[フォルダ内全て]/[お気に入り内全て]で選択できるファイルは999枚までです。
- [お気に入り登録]、DPOFが付けられるファイルは999枚までです。選択を解除する。

電池残量不十分です

- 内蔵メモリーに記録した画像を"メモリースティック デュオ"にコピーするときは、充分に充電したバッテリーをお使いください。

プリンタービジー

用紙エラー

用紙がなくなりました

インクエラー

インクが少なくなりました

インクがなくなりました

- プリンターを確認する。

プリンターエラー

- プリンターを確認する。
- プリントしたい画像が壊れていないか確認する。

- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性がある。マルチ端子専用ケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っている。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

BGMエラー

- 選択したBGMデータを削除するか、正常なデータと入れ換える。
- [BGMフォーマット]をしてから、正常なデータをダウンロードする。

BGMフォーマットエラー

- BGMフォーマットし直す。

HD（D3）出力中には この操作は実行出来ません

- 本機をハイビジョンテレビに接続中は一部の機能で制限があります。

テレビ出力中には この操作は実行出来ません

- 本機をテレビに接続中は一部の機能で制限があります。

動画ファイルでは この操作は実行出来ません

- 動画に対応していない機能を使おうとしている。

非対応ファイルでは
この操作は実行出来ません

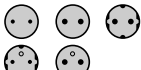
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は、加工などの編集機能は使えません。

PictBridge接続中には
この操作は実行出来ません

- 本機とPictBridge対応プリンターを接続中は一部の機能に制限があります。

データを修復します
データ修復中

- パソコンで画像を削除した場合などに日付情報などを修復する。

FULL

- 本機で日付管理できる枚数をこえています。日付ビューで画像を削除する。

海外で使うときは

バッテリーチャージャー（付属）やACアダプター AC-LS5K（別売）は全世界（AC100V ～ 240V・50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

- **電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。**

“メモリースティック デュオ”について

“メモリースティック デュオ”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック デュオ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○*1
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*2
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1*2
メモリースティック PRO デュオ	○*2*3
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*2*3*4

*1 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。

*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*3 動画の[640（ファイン）]の記録ができます。

*4 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、メモリースティックPRO デュオと同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本製品は“メモリースティック マイクロ”（“M2”）に対応しています。“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- “メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック デュオ アダプター（別売）使用上のご注意

- "メモリースティック デュオ"を"メモリースティック"対応機器でお使いの場合は、必ず"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと"メモリースティック デュオ"が取り出せなくなる可能性があります。
- "メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- "メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに装着して"メモリースティック"対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに"メモリースティック デュオ"が装着されていない状態で、"メモリースティック"対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

"メモリースティック PRO デュオ"（別売）使用上のご注意

本機で動作確認されている"メモリースティック PRO デュオ"は16GBまでです。

"メモリースティック マイクロ"（別売）使用上のご注意

- "メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず"メモリースティック マイクロ"をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、"メモリースティック マイクロ"が取り出せなくなる可能性があります。
- "メモリースティック マイクロ"は小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

使用可能な"メモリースティック"についての最新情報は、ホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（最終ページ）。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（30ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ず付属のバッテリーケースをご使用ください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

- NP-BD1（付属）は、Dタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。
  Tタイプなどに対応したサイバーショットではお使いになれません。
- 別売のバッテリー NP-FD1をお使いになると、残量表示の後に分表示（ 60分）も出ます。

バッテリーチャージャーについて

バッテリーチャージャーについて

- バッテリーチャージャー（付属）で、Dタイプ、Tタイプ、Rタイプ、Eタイプ以外のバッテリーを充電しないでください。
  指定以外のバッテリーを充電すると、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをするおそれがあります。

- 本機に対応しているバッテリーは、Dタイプです。また、付属のバッテリーは、NP-BD1（Dタイプ）です。

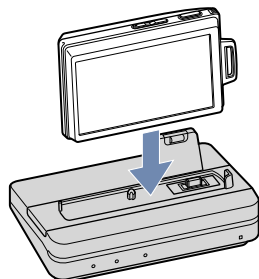
- 充電したバッテリーはバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま取り付けていると、バッテリーの寿命を損なうことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は充電中のバッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
  再びCHARGEランプが点滅した場合は、バッテリーの異常、または指定以外のバッテリーが挿入された場合が考えられます。指定のバッテリーかどうか確認してください。

  指定のバッテリーを挿入している場合は、一度バッテリーを抜き、新品のバッテリーなど、別のバッテリーを挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、バッテリーの異常が考えられます。

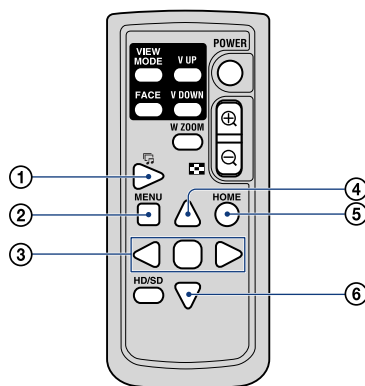
サイバーショットステーションについて

サイバーショットステーションについて

本機にはCSS-HD2（別売）が対応しています。

サイバーショットステーション（別売）を使うと付属のバッテリーチャージャーよりも早く充電したり簡単にTVと接続することができます。
詳しくは、サイバーショットステーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

リモコンで操作する

CSS-HD2に付属されているリモコンを本機で使用するときは以下のような操作になります。

• 記載されていないボタンについて詳しくは、サイバーショットステーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

①**スライドショーボタン**：スライドショー設定（30ページ）。
本体のボタンをタッチしたときと画面は異なりますが、設定項目に変わりはありません。

②**MENUボタン**：このボタンは無効です。

③**◀/▶ボタン**：画像の送り／戻し（1枚再生時）／カーソル移動（一覧表示時）
●ボタン：1枚再生へ切り換え（一覧表示時）

④**▲ボタン**：画面表示切り換え（1枚再生時）／カーソル移動（一覧表示時）

⑤**HOMEボタン**：このボタンは無効です。

⑥**▼ボタン**：カーソル移動（一覧表示時）

用語の解説

インストール（92ページ）
ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にすること。

オートパワーオフ機能
電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源が自動的に切れる機能。

拡張子（101ページ）
ファイルの種類を表す3～4文字の英数字のこと。ファイル名の末尾にピリオドで区切られた一番右側の部分。

画素（11ページ）
画像を構成する最小単位。画素数が多いほど画像サイズが大きくなり、画像の解像度が高くなる。

画像サイズ（11ページ）
画素数を横×縦で表示したサイズ。画像サイズが大きいと、画素数が多くなり画像の解像度が高くなる。

光学ズーム（84ページ）
レンズの焦点距離を変化させることにより撮影倍率を変化させる方式。レンズが移動することによって拡大・縮小するため、画質の劣化はない。

シャッタースピード（10ページ）
撮影時にCCDに光を当てる時間のこと。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写る。

スマートズーム（84ページ）
極めて画質劣化の少ない、画質を優先したデジタルズーム。光学ズームと同じような感覚で使える。ただし、総合ズーム倍率は設定している画像サイズによって異なる。

ノイズ（10ページ）
CCDが光を受け取り信号として出力するまでの過程で発生する画像のざらつきのこと。

半押し（8ページ）
シャッターボタンを押し込まず、半分押した状態にしておくこと。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整する。

ピント（8ページ）
被写体に対する焦点のこと。本機はピントを自動調整する。

フォーマット（74、77ページ）
「初期化」ともいい、記録メディアにデータを書き込めるようにすること。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消える。

フォルダ（70、74、75ページ）
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所。目的別（イベント別）などで画像を分類するときに便利。

プレシジョンデジタルズーム（84ページ）

ズーム倍率を優先したデジタルズーム。画像をデジタル処理することにより、画像サイズの設定に関係なく常に最大で光学ズーム倍率の2倍のズームが可能。画像サイズ、ズームポジションによっては、スマートズームより画質が劣化することがあるが、一般的なデジタルズームに比べて劣化の少ない画質が得られる。

ホワイトバランス（52、54ページ）

光源に合わせて色を調整する機能。被写体の見た目の色は光の状況に影響される。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写る。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影できる。

“メモリースティック”（129ページ）

小さくて軽いIC記録メディア。本機には、通常の“メモリースティック”より小型の“メモリースティック デュオ”を使用する。

有効画素数

CCDが光から電気信号に変換できる画素数。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になる。

露出（10ページ）

絞りとシャッタースピードの値により決まる光量。

AE（25ページ）

「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能。

AF（43ページ）

「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能。

CCD

「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種。

DCF

「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格。

DPOF（111ページ）

「Digital Print Order Format」の略。「ディーポフ」と読み、プリント予約したい写真を“メモリースティック デュオ”上に指定できる。

DRO（55ページ）

「Dynamic Range Optimizer」の略。「ディーアールオー」と読み、撮影されたシーンを解析し画像の明暗の差を最適になるよう自動補正する機能。

EV（46ページ）

「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位。

Exif
「イグジフ」と読み、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画像用のファイルフォーマット。

ISO感度(推奨露光指数)(46ページ)
「イソ」と読み、光を受ける撮像素子を含めた記録側の感度値。数値が大きいほど高感度に撮影できる。

JPEG(98ページ)
「ジェイペグ」と読み、インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存する。

Mass Storage(81ページ)
"メモリースティック"が入ったデジタルカメラ自体を、外付けの記憶装置として認識し、USB接続したパソコンから操作可能なモード。

MPEG(98ページ)
「エムペグ」と読み、カラー動画像の圧縮方式の1つ。品質の良い画像や高い圧縮形式が得られる。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存する。

MTP(81ページ)
「Media Transfer Protocol」の略。
画像を含む音楽などの転送ができるようになったPTPの上位規格。Windows Vistaで標準対応。

OS(91、104ページ)
「Operating System」の略。コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するのに必要な基本ソフトウェアのこと。

PictBridge(108ページ)
「ピクトブリッジ」と読み、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格。PictBridge対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントできる。

PTP(81ページ)
「Picture Transfer Protocol」の略。
パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法。Windows XPで標準対応。

USB(91、104ページ)
「Universal Serial Bus」の略。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格。

VGA(12ページ)
「Video Graphics Array」の略。640×480の画像サイズのこと。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「C Library」、「Expat」、「zlib」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。
「C Library」、「Expat」、「zlib」の記載(英文)が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)または、GNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■困ったときは（サポートのご案内）

サイバーショットおよび付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関する Q&A、パソコンとの接続方法など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/